任朝鮮總督府全羅南道知事

|務議長)本府事務官大野議一▲(江風)本阳道事務官録谷心一会國へ出襲を命ず(各通)

4目のものを選出して今明日中に取纏めの上、十日の閣議に間に合ふ樣拓務省へ廻附する以務局長は六日午前中これを內査し午後今井田政務總監と愼重審議して、この中から五六 四揃った、とれによると二十七件に達し重要國策氾濫時代を思はせてゐる。これに對し林 慶園策略第に続いては底報の通り本府院務局でその取職めを急いでゐたが、六日午前中官房、事賣を除いて全部

官房及專賣を除いて二十七件に達す

州の重要國策豫算

れる、以上の形骸に驅戦し消息通(軍に合流した、散州では三百重都・り流息状態を呈してゐるの第土候項を修正する高見と見ら)を翻へしらも「圍御は直もに鹽西」十畝名よぶ日數國を通電するに至

配して自由市の情勢を監視せしめ

突如田南側と呼鳴して中央に反族。師を長江南部以下師、旗號長等二洪江方面にあつた何磯軍は、四日(墳な叛乱勢襲し、二十五軍の敷領

林省の異動は六日左の如く越令さ

资外四机 管 マあ 効



禁庭家之界世

助 国際へ話しかけたのである。
かった。いつか 観覚の 徳に 配便して て、そこへ参索してみたが、常田の上人の配部は、様りに手強くもは あり、腹方や子たもの生治にも不能 使が多いので、自分の願他の宮村の、、上人を迎へたほどの後であつ

な けれど大内國時は、それではまな、が、歴史によなっつた。五國はおろが一次に上大の領域にあまれく行き直ってあるし、試験に対する人々の信仰は、日に、所派に対する人々の信仰は、日にていてである。そしてその歌歌の中心を求めてやまない。



祭をつれて散步するのが唯一の

塩ブレンネル帳一帯に大軍を繰結

天地主黄

在民族の異様は、本題中に大臣に於て行はれるが今回の異態は四種語是級の異様は、本題中に大臣に於て行はれるか今回の異態は四種語是級の異様は、本題中に大臣に於て行はれるが今回の異態は四種語是級の異態は、本題中に大臣に於て行はれるが今回の異態は四種語是級の異態は、本題中に大臣に於て行はれるが今回の異態は四種語と

都近勝全南知事後世として壁南内務部長松本伊畿氏の扱道による内

運に撤退をかけようといる衛生省然前道に緊出した副生名談立の戦 「東京電話」寺内睡相の一宮か田

審作

W)

つ立に統一升の肌がの夏に出毒に傷にけて陽

- FF

名は六日カーキー色の作業服に 直路のて拠位省に朝母木選相を

と企業の存職研究に売替せよ」 一下六縣五十一位業以前の代節はと関し立てた賦の存職研究に売替せよ」 一下六縣五十一位業以前の代節以と思中央公會等で開贈「野災銃竜」及首兄そ五十名の米例を初め管内

な諸野間は六日柳令を以て公布

ける公布施行

木誕相三節、富田寶紫剛院勘長、文相、著內鹽相、永野產相、賴母 各新川、通信社を既中して日代で

へ、関き解へた門徒が来て、底法|親贈らそれをゆるす

れ由敵傷けれ

目動車崖下に頭落し

一説明されるものである、本所は頭一

「東京電話」工数學園院師は、

| は0組に入り、日本はランキング 果、第十二位の印度はA組、第八位

七位るC、八位以下をB、十一位 てランキングを決定、右により一 年近に至る過去の職態を基準とし ≫加十四國の一九三四年より三六

コスロヴアキア、アメリカ、ユイ、インド、ハンガリー、チェッ合せ態をの通り に入ることとなつた決定した、組あるが、若し参加した場合はB組

一三位をそれくり、四位以下

第九位でB組に入りドイツ、

適切 た心の心とであるか

郡守ら重傷す

なった、今まで部隊してゐた學生 運に手を振りこれと 国抗するとに 政と五日夜型技別立で館合、暗黙難して型生差別側は、校友同志館 理事と結ばんとしてゐる、これに製部の延命をはからんとし、一部

**交兄側では五日午町十時池装飾前** 

四氏生命に別條なし

作つてあるが光づ農村社會事業の

した、なほ現在の形見所の経費は

す理事會で決

學生、校友、父兄ら意見一致し

立教學園の蕭正運動

なるものは次の様なものである 一部港の有志や、極女館、面事務所

プート 「日出来と高山下」を実動することになり、優良形見

祭別に設け、即可婦人の屋外所働

一千五百ヶ所の証別所を誤

本層では將來於一萬を既

本府 是其最初上都出

本衙ではかねてから農科振興の徽|

館にも踏つていよ!、明年度から一次にを地重として明年度から一ヶ

般極能に他間事業施設に乗り出す

平度から年天屋がとして「ケ年紀」 再切の手列に扱けた時は、百ケ家を記述、これに関する結婚は別 再切の手列に扱けた時は、百ケ家と記述、これに関する結婚は別 のてあるが、成蟜も好く、明和人家によって、これ

一つてゐるが、成骸も好く、昭和八

託兄所で平均三十人の赤ん坊を取 の出資や補助で経営し、

からの

六萬個を撮影し近久的事業にする一

| 日では二千ヶ所に隙頃してゐるこ

総督府では今天の別事的はに「新

生活に即した社會施設案を取締め一

となって開留される社會事業調査

## 瑞典のべ博士から

野内の胴形物・竹を打ち切り、

顕する(層面は限量の光景) 九月頃日光その他を見物して弱 金剛山・薩州伊國寺等を見物し

漢江横斷は御法度

**小魔の跳梁に備へる當局** 

面に向け無難札の自野路に乗つて、「銀京城黄金町四丁目から三丁目方 作の男は黄金町三丁目の郵便所に一みたまゝ正札がついてゐるとは知 ゆく男を本町署員が追続した底・ 人り、一元のあいた肥金連輯を出し に記金の構成しを求めてるた。八十 七日午前八時 | 去る六月廿日売金八百個を持つ 無知な泥棒遂に御用 入城、罪かなデオンの街に出入り らず大概にもその主、迷症せんと 前記和信様服部で問ふと辞し若て するうち原併金を消費したので、 したことが野つた

無効貯金帳で

拂出しを迫る男

た、男は安國町の職工率鳳王(三) 便所述がその男に質問して居ると 人外交官

のあいた問意帳は無難ないで、

ール、学島の置きまへの美しい外

特のた。 / 幕永々が制作したスキー

四五歲…一三三/

機尿病、胃腑此の病原因は

六五歳… 一四三ヶ

関取団の

交替となつてミッコ・モリナガ、



開き、チーム総談に高金の領を解す 無朝朝食後 職世際際を 一月まで三越で、ミチコさんは六日 から十五日まで三中井でモリナガ ん (右) とチカコさん (左) から十一日まで丁子屋で、十二日 サービスをする「劉殿はミツコさ した。チカコさんは六日から上 側后れ基数。仕事に根無限かず一寸した単にも意切 色々と指摘して加壓も下げ候も、暫らくすれば又々 れ献し、時候の難目には神經痛に苦しめられ族に付一

この開三年来加盟二百ミリ以上にて耳鳴り間貫く

今日には西、手足の自由も叶ひ能削通り商製に従夢 依り、飢死を耐水国五十ミリ迄降り約一ヶ月中後の

家内一同、深間の春を辿へたるを覚び居僚

が、今世先生御殺見の血液浄化物の服験と茶生に

同幸福に蘇る

配原城且最二十周年

監朝鮮商業銀行

定

州

支店

**钬を計られる深切に御奬め申上族 大阪市 吉原宮吉** 

へあれば!

両げ

4

同病の方は迷はず、急ぎ紅液部化剤を服用して全

言語・手足の自由

も呼び

服業でき家内

然語溢血にやられ舌モッレと半身不同にて概念され 元以上の側壁に上るので殆んど常懸戦し路候郷、突

別一面(原見は七十種) から京城旭町京芸久で明く、材料 全般天氣豫報了

仁川の潮時

和信出口で御用

來るべき第十一國大爵ホッケー顫 (二、引合一、貧〇の探脈方法によールリンオリンピック規約に基き) 法は各組船にリーグ戦を行ひ、勝

医衝委員會は五日パリに開催、

五日世盟 | 國際ホツケー園| ガニスタン、デンマークとトー

メントを行ふととなった。賦合方

日本は九位でB組

順序組合セ決

ツ

|皮膜|| リーが組合せ別を審議し、| り順位を決定、トーナメント法に

より脳後の野脳を決定するととな

1 当出に及んで、膨々と出て來る

つた、なけスペインは参加未定で

邱斯南山町李相版(10)11般名…と 前年を組織者はが腹調べると、大 い洋服に、和信の正礼をつけたま

>明:時景 【明日】 東の風明 【今晩】東の原 【今晩】集の同

大略地方では名鬼家、質兄は目下して、貫家は祖父の代からの賢動で、昭一 満洲國の公爵を勤めてゐるので、 作一五度六(六日)正午廿四度。京城温度 (五日)最高廿九度

自分も的師になるべく釆城したが 今登上情界の人學試験に落節し、

職を決議し製団の職正をはかるべ 明東に集合、この際木村學長の確

|豚鶫の近手はは常局の最重な取締|大門署は細路四丁月から、 片、モルヒホなどを水めて集る男 師路、東大門兩署が

**魔窟を一齊に手入れ** 

女がうごめいてゐる事を添知した その 東氏(\*)」はは元寅路タク 京城鎮路四の一八

て数尺の住下に駆逐、自動心は大腰し、壁部守は全部一週間、境保安高長は跳一週間、小宮智長は賦っる四日午後九時四十分原状川郡郡北面「稻里の蘋果にさしか入つた際、運戦手が並不馴れのため謎つ 交通は際のため外一名と志の関係所書書館配所有の七人類自動和に優栄、沢川より大田に向よ途中、去邸北沢川湖守敬地、遺傳院議長薩諸次繋部、沢川製長小宮夕四部繋部、地方部鑒談全起館の内氏に、

迎聘手は照視した、直に一同を大田道立度院に贈ぎ込み手

木村學長) 事質で一気に二の節職を決定する 同學長の延命を許さず、七日の用しその意見が有力となった結果、

庭兒島劍道軍

大日本武一東大門、頭路削署では、五日

週間、金屬託は同五盟間の重脳を買ひ、 営を加へてあるが、生命には別保ない概様である

> 東大門塔へ総器された 敬じ、以來元漢城學習校生

展手をのばしてみた事が判明、 原子をのばしてみた事が判明、 に変なく、 一味 に変なく、 一味 に変なりて有規

に変なりて有規

に変なりて有規

に変なりて有規

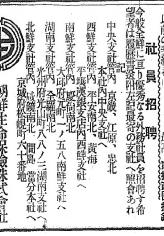
に変なりて有規

に変なりて有規

に変がする。











### よ雌は鮨の艦に似てゐて羽毛は茶 子自頭山スロープに住む無電点は つた雄に服能すると云つた面白一石礁巡覧が戦助したが、龍山署で 脳を行ひ、雌は何らで歌観、 雄師志は奇獣を飾して猛烈を野性調査によれば、岩光になると つてセテン・ベルグマン氏の割 世界にも珍しい島で、雄の毛色 際官を通じて宇宙語質に贈った ルグマン氏〇つは、日本領土内 スニーデンな太子殿下の御謂國 期は望の中でもぐらももの線な一で施設中の水泳場を演工機上流穴一々村は日本の本部隊到着と共に國 は原色で、首に自色の延縮があ 削上時半總督府を訪問、小田通 立派な別盟に仕上げて、六日午 珍島斯雷島一番ひをこの程指揮 関防部列他物研究部長及びスト では白頭山スロープだけに住む ソクホルム大學教授セテン・パ 酸けてゐたスニーデン王治 殿北朱乙を中心に対しヶ年 北鮮一帯の動植物の破労調

一遊江の水脈は自殺者を聴ふばかり

| 古米の砂原に二、三日中に出来上 イ外では絶対に微速を禁じ、違反 り閉場するので、この水泳場のず。着は厳しく取締ることになった

府營水泳場は近く出來る

## **晨村の婦人の屋外活動を助**ける の託兒所案

第1 を静隠し、各風から質解風邪(安心して男子に交つて歌唳に解に於ける船舶明潔の具龍船振興)て形別所で帰南され、殿司 智 に近く今井田戦権總監が委職長「ジャンダークとし効果を挙げてあ」 の家人ががお母さんの僕から離れ一路の調べによると、職籍財政児所一ある、なほぼ児所の保護にはい て肥先所で保育され、臨河加人もの経費は一を所二十種から五種は一面の無菌夫人、当単位校女教員、 **屋外** で動き、農村振興の 方針であるから、農村振興も監案 切の世話館に窓時印絵―、北京町 本樹から勝脚として竹内浦 1 母心して男子に交って勇敢に で、明年度から本樹より補助する「鶴家の襲さん等を認動良して赤ん。梅は下遊椒部總出動で開源を行ひ 地方社會事業に本府の苦心

ものとして社野雄楽劇協議ではが、てる模様である の主婦の議動でより以上で成する。は耶洛集總所、學校、林尚等を當

一街の方針に双手を駆けて管成して一

方数化主事打合質を開催、供達知主他となつて道質融影で道内の地 るため一日から四日まで腹北道が

具體案討議 託見所の設置 軍馬四十頭 家畜市場で

十一日に買る

肝可を受け二、三人でも五十人飛」は大いに慰められてゐる

由外出も認めず、外出の場合には の後一時間まで許すと云ふ存標、 し、新聞記者に對して水階と目職

日とは、2000年の日本経典に表出し、自一で自己になった。同村では歌は一般でも出内以外総数に表出し、自一ずることになった。同村では歌は

一音樂夜はシネマがあるので各選手

のバスを出すと伝ふ大概器な有標

倉番の悪事

重取締ることになった。南京城府 体機師は絶費にまかりならねと厳

【ベルリン五日同盟】オリンピツ

一般人に對して最重に面額を悲に

は游泳シーズンを整へて競狂の游

て随く耐化せんとしたのを演出器

干洗技一のが頻節中、渦に標かれ 今夏すでに 五名の命を 確つてゐ

オリンピツク何は

際氣分漸~濃厚

規則立つた村の生活ぶり

監督はチーム統制に努む

怪我したペルメル

道では、月下それと一道内の事例 総北道ではこれが具體深を樹立す 殿村の融資施設の融限を受けた各一 に相回しい施設を研究中であるが 品城東大門外府營家造市場では十 國際ホ

軍に被制長吉村一等問題正で、要 の部屋勝貫を行ふ、勝貫管は朝鮮、村の一日午前八時から約四十頭の軍馬」にある 齢十歳明後▲僧格衆馬及駄馬剛─間に朝廷を掘って▲内地馬扇馬「蜀丸切り」▲年一世をよって「十世 ご真龍店五尺内外

から一時半まで、建算後また六時 提武を行ひ、七時から九時までの ロスアンでは一個情報比較に國際協 村の生活は 六時起來,

錫を入質す

時間自計園、重都五十二元に切ら で不能に思った東大門審説が調べ れた個の塊が強んに入費されるの 最近果大門署僧内各造店に何わも て同層能の個の塊を游散してみ が中心となり、 五月一日から引酸き酸倒に耳

正札附の洋服 味五名共



家造製

◎年中無体…收

入確實◎

郷常男("この行方については全國一行した

らました観覧部が開発が記録は金一名が月期引取のため五日内地へ急一行中刻れ飛ばされたものらしい

女ゆゑの罪 昔の秀才が

地震で崖崩れ落ち

修慎晴らし 仁川の醉興の殺人

川」既報、配解の結果もじ丸。けられたがポートで再び街に出て まさに運命の悪戯

命を捨て終ったことが削った

といふので飲み足られ棺は脚をひ

邱南山町の 伯文を尋ねて 来たが

學を卒業、在世中は考才といはれ 預費(デ)といひ四年 則定都平南中 町備後屋から大郎潜につき出さ 大郎]四日朝無國領市のため村 文なし宿泊

家屋の破壞、石塀の崩壊など

珍らしや被害續出

でいった地域が「放にている三丈な」 マラソカ 田花田 でも 歌声が出る。 一年的大陸跳作中底線の如く障断を 入みで目下方線到で辞細攻調べ中 水を廻した間 一點・ラックは右側 「一年的大陸跳作中底線の切く障断を 入みで目下方線到で辞細攻調べ中 水を廻した間 「脚トラックは右側」 水を廻した間 「脚トラックは右側」 水を廻した間 「脚トラックは右側」 水を廻した間 「脚トラックは右側」 なってるた意士思

間面店員学正都でいれる場を買ひ

の後何等これに對し解決策を削し死半生の器行を加へられたが、そ

なかつたのでやられた金銭数ほど

らせ不法に殴られても保護を加へ

いれないのならばわれくも要行

遊野氏(\*\*\*が不法にも影響者の歴

原因はまる六月中旬四個居住の金

自殺らしい

在野政に助けられて新く神殿したは足賦のたらの理論打され間地転

つて來るや西域館の部落民十數名

にをかけられ谷本、金屑氏から半

山谷第二二一貨物列ルが原城起監 【浊山】五日午前五時五十一分汶

し婚者里氏に夢地に段川野

トラツク御難

有自家田域物自動料(忠常一〇八)性挑戦で至治三箇月と見られてる「大田」本町二丁月田田勝市茂町(直に単立國院に入院せしめたが顧 七號)を連轉音要水売(ニニ)が運動 ウ臍曲大橋十五度を散版し大田旭 四日午前九時四十五分頃プジチュ

怪盗は模範傭人 る、なほ単は前部大破し隣四一英

回その他事態性のは人つた金剛(皇政副への結果、同校主宅に十二、がが失してあるのを小吹得響気で、年間も帰院してあた福信殿(で)の上がが続い、同田でにより常島では、仕集と問到してのた福信殿(で)のこが辞見、同田でにより常島では、仕集と問到して 一千三百冊園要単行党金通修二萬」はじめ、欧形人十一名からは、ほり人都等)の投長地にあった「娘金」と弱み、歴初の観覚者たる小院をク人都等)の投長地にあった「娘金」と弱み、歴初の観覚者に小院を 秦天】去る三日午後五時過ぎか」り砂域された金犀を軽短、常局で

意外な犯人捕まる

保安主任に首戦されがはれた……

府民を騙し夜店で野柴中の野師が一行踏しながら六月九日渡野、釜山 【大田】硼酸を『泥種質』を称し「繊酸锌化に製化し九州各地を行助

、大郎、金泉の各地を店で竹百回

ロやかす偽貨幣

**偽札影を潜め一安心の處へ** 

怪しき一角登場

の奇觀

煙突の停襲、 日眠に目立つて高くなるのに人 キ

直もに捜査を開始、四日午前九時 奉天醫專の大金紛失』。件

が経験をはが終した光道、南央が同った音楽を開始した光道、南央が同った光道、南央が同った光道、南央が同った音楽を開始した光道、南央が同った音楽を開始した光道、南央が同った。 鐵路總局發表

の概行がヤブと跳を落めようとし、並太遠氏の震変金の中にも十銭日 に相當護治してゐるものと見られ、さな近敗を置いた雍戦闘の遺跡著、日義州郡區中軍法城河煙草小敦人 からぬといふ積功なもので平北道、音楽舞』 安義の関係が遅れた | 距眺で渡見されたものと同じく四 | より吹し嘘いがよく調べないとわ

観か四と資業。に配け出た、いつれる販量元年の。は明治政務で終を再び矢らしてゐは紀ならぬ間。観覧「骨が観見され直もに紀花師」明治武帝でおびゃかされた國軍人徒のようとし「並水道氏の資表金の中にも十銭日」に非常演立してゐるものと見られ

なきギャングに

質ひながら松闘の上途に逮捕した

や遂に荒

折角の天然保存物の保護の手空し

これはしたり鳥の巢異變

労」取。を迫つて翼を体めるこれらのほは、ギヤングのため荒ᢅ郷の天地化せん。してゐたものである、劉では「瞬間」かもめ、うとう、しらさぎ、魚群・脅威(なり、天然前泉郷は小なき)て形内を徘徊、前記博養屋に投倒

してるたものである。響では一瞬

げた、取調べにより石は順川都会

人面部山里丁一頭(むといひ))年

めがけて飛び込み無疑な棘化を送 弘間を進行中、朝鮮人老婆が列心

「り節八一九列川が安山店、金八「り節八一九列川が安山店、金八

無残な轢死

老人二人の 自殺と過失

符にたへかね自殺したものと判明

電影を、握るないやうに腕を変かつけて行。してこの名物を永久に変したいと 「別がとはなんとか」 配派を興へて信父に引張した川部号 | 微島を自由の天地として忌い路か としてゐる、別川路ではなんとか 「別派を興へて信父に引張した

く、この都聽を読る天然都勝を陳、深をもんでゐるが何分致通不便な趨もないやらに哪を確みつけて行 してこの名物を永久に蹤したいと

の業歴を永久に保存するたい期の一巻ではいくら種情をこめて暇らま、一位するため總督斯では昨年、天然一声上の無人尉なので突回を歌る部

探取を厳禁したが、心ない源天はとしても島の樂園は徒らに違い夢

漁業に来たついでとばかり岳の単 と消えて島に帰げるサーベルさん

【慶鎮】即原營司法主任崔麟市制

はず無疑鍵が、身元は月下取調べ つた際一老人が列中直前を横瞰せ ▲五日午前八時半期より「のぞみ」 町夫に助れ年老いた身に種子の唐

八年振りで 慶游署連捕

> 炭車正面衝突 協闘車は滅茶々々に破壊 運轉手は双方重傷

[年雲] 四月年前九陸五十分報告 | とは恵々ないので副宮の結果を註 | 姑娘一味として鹽鹼に加入し縁近石鏡を確認している | 世紀鏡鏡師の | 世紀鏡鏡師が | 高線であるところからみて迎襲子 | 調べたところ庭院境内西に住所不同地の路段鏡形の第一世紀鏡鏡師が | が高線であるところからみて迎襲子 | 調べたところ庭院境内西に住所不同地の路段鏡形の第一世紀鏡鏡師が | 一部本事が任しい顧酬人を破壊取 ひ民定中局十時半頃大同都校殿面|単) て大同趣が脱画上五里階段場に向|目されてゐる(温風は吸域した助|の市内藝館情况債祭のため意入した。 百年里で、上五里で石炭をおろし 匪賊の密偵 たこと特明、引動き取割中である

原五语画り六丁月二和近で広東宮 を立てゝ振動した 【清州】四日午即六時六分明清

では初一西二千回で急慢に送した と二名の遊戲手は奇淵底に助かつ 医 たが剛囲揺を振り道感である、徹 たの遊戲手は奇淵底に助かつ 医

書館説がに向ひ迎行して来た金装

を関ったためではないかと云はれ

生徒の將棋倒れ 炎天から多數卒倒

初し二十銭、三十銭、五十銭に即 取役してゐたので熊本市芸師

南部一帯軍里、青龍の開面は単天 【士母】學天賦きのため他位不能 世書面に解の題である――大同郡四山で後衛虫が誕生して誤居達は 夜盗虫に怯ゆ

努めてゐる

合資路上で研解物米

内白米杉出業者の打

南鮮を股に膺薬を賣る

を見合せた判加先別からデット耳 内さんのヒットにヒヤッとして節 を澄して聞いてゐた村本穀働支所 そこで居前んだ同業者連

> 色白に方数の翠本日 れる古典美です とクツキリと溢れる とクツキリと溢れる とクリカリカリット はす見惚れる 整肌サルモンの作用

中出資待優御者用愛 くなれ洩に方の上置お伽一スールプ 星進宛個壺 (平 33)ルーメ島風ンサール



生々と清新な近代美工出來るお化粧です の新發見です 白粉下を使用せずに

でま日廿月七 **リアニウ品能化・品用・店賃目収**る

によくノビる れはクリー 洋装用のゑり化

中出實待優御者用愛

a O の 化 対 か こ

色費に方おの軽洋鉄準

銀支店より製金の支腕を与け数を たので敵衛那が東ル軍部長外一 堤、四日女の終列戦に総路内を辿れ上三国の小切手を意識し同日霞 『五日扇縣舞號部より入電があつ 近に倒れてあるのを除線工夫が纏り郵殺した小學校補助金 二千四百 縣へ立聽つたところを逃げされた 人男が硫死の重傷を買って網路附り郵殺した小學校補助金 二千四百 縣へ立聽つたところを逃げされた 人男が硫死の重傷を買って網路附り郵殺した小學校補助金 こう 以南するに柳巻蛇は昭和四年の 取容疑者を引致取調べ中であるが 配下渡邊は吉方を数名で襲ひ舞門鬼形線丁事の総新覧線に松本 言脈三名口からも一名の基準

をかき荒し肥は平南及び戦南部方の愛情もたよ髪部のたねとなつて

及び韓巡國推勘はこの程延吉母春 選出の機器を限て山東省管が出

御。この証帥も衆山鳴動して最一税的内指物で製法下に深伏中を逃

姿の貴方グ

局から全國に亘りキッイお達みか

一応れちや城上」と同様、關果

が肌を 産みにやつて來る。面に質り捌き、折角の樂館も島の、ある

局飛び屋員失敗

遊興に身を潰した南浦府廳員

郷里に舞戻りご用

脱走囚人は床下に潜む

繁節部と豆腐江河中で位置し、江 午前八時頃から実和行方不明とな一起して間凶人の摂食に當つたが必須削山で地震が増減物がの江蘇二二一役中であるが、三日の起床監呼後一所、島英院、米院等院が活地へ手 とんだ人さわがせ

個に全國を風跡した。 「話」あった

不法暴行の報復に 闘更を袋叩き 目ら禍を招いた兩出張員

即九時総登支閣で今泉極事立間、かつた際職が置を認以坡州署から、とる預職事代第二回公判は四日午 四十三キュー七〇の地脈に差しか 戦は來る十三日に交延期した 報は來る十三日に又延期した 松献したとこる関中の手輌によつ 小出刊事係で離人和局があり、公「加勝部長か公園を同年が書に赴き」 また國境に不祥事

ところからみて生活難のため懸世 殿因は不明であるが所持金のない 計成(言しと戦明した、 鞭死の

三日朋かれた翌ク管

人与尚系

験のこと、心臓や胃袋の強い流 V

色肌に方人婦御般ー

サイユーカンドロー

短數 大阪四大三二五學

スを御試し下さいのためのおり自粉プルーであり自粉プルーでが鮮な生れ避 個

呈進瓶用試

節次越由御入封校三手切錢二 (入肥名明新乞) 星渔瓶用試

の味を確設するどころか、

にいたつ ては、お話になりません、これではピー

**発戦いたします、グラスに迷い** 

ものは生ビールにあるのです、黒ビールはにがみが得されてもるのです。だからほんとのフレッシュなビールの味といふ

めて殺骸したものが壊酷ですから、その盗めるうちに味が洛 と螺結の嗅ぎわけする人があります、生ビールを六十度に温

郷山、九日まで

たいものです、ハンドバッグも外 金具なども、つめたい歌じの、

**見城三越でひらかれてゐる、改磁** あつさりした小いりのものを選び

個関新作品除列館が五日から 大倉陶園作品展

なそして限い系統の打組が適當で

のますからビールを飲みはじめの方や婦人向にはい \ビール

潮戸病院長

やまひ肛門

ばならの弦、就中幸高とのの如き事一世紀ずが、兵軍へ

の、本来感びを申述べたまめられ 御主君の御歴館向ひには参りませ

「ウム、左樑か、デヘ、其方に墓 と習つた。友層が、 高とのなり、また長以どのなりが。事を要せ間で下さりますでう。」 らせられまするに、未だ官兵衛挙一土産のものに就いては、兵庫に **淳子代丸稼御出生、殷早二歳にな** 御遺はしになりましたが、今日は 李高殿の息女八重姫さまを富國へ 郷子は岡川盛きて呼ぶを申込み、

れまする人塾、及び先方へ特参の「それは危き事、何卒、昭日召伊

れる風、幸ひ、御主君の御武辿媼 理家の間に不和を生じ、三年に亘

申上げませれ、配いては、石戸れる

「それ迄の仰せ故、重ねて御歌見け

ソコで原法寺兵庫も振るな と、言つて安藤守は背き入れた

り、大勝を得ましたるが、黒田

料品件れるぞ

スルと兵隊が

分である。名島へ巻るには五十名 「されば、持一つ越せば、黒田

また国本共能く君の御言葉を

すやらにしてい

スルと、傳法寺兵庫は

かつた。

島

伯 Œ 美鶴 畵 演

招待されて

でくお考へ遊ばすやう。先には

なりますやら、アイシャドーも、 の技巧も、あくどい事はおさけに

よほど上手になさらぬと、どぎつ

くなります

つしずるのに、その上にきつく

たしますから、自分の足にきもん た、どんなに白くても、ダブノし ☆―夏 は、緑に足袋を辿日

る事も多いし、原題の深さを十分

及び原拠の手術をやつた後中値す いと明確ではないが、肛門開頭気 形が原機が出来たのでないか見た

よく、美しい大きな月を待つて

いかな琥珀色をたくへてゐるのがいゝので、ピールの眞の帰 に時、白い御が上から二三分どころにといまつて、下になめ といふのは、まづ第一にビールを除り帝し過ぎるきらひがあ だまでに味つてゐられるか。ちょつと疑問なのであります ものです、然し!ピールの真の醍醐味を一般の方が、どれ

ビールの飲み加蔵は番氏の十度削後が設も好適なの

こそは、鼠に夏の腐味として上戸池の監察の的となきなグラスになみ~~そそゝがれるビールの琥珀色

ルを述がないことです、飲みさした上へ~~と注いで行くの聞いて飲むにしても、グラスが空になるまでは、新しくビー は、心なきビールの注ぎ方であり、味ひ方であります、グラ

が、もつとも正常なピールの味ひ方です。たと、二度三度に

合畵漫案新輯製劇 (キマノイテンタ)

命やせば冷すだけい」と心様で簡の根にしみ込む。に命

生」まいので、ピール通になると香ひを嗅いだだけで生生、ビールと観醒ビールとでは、勿識生ビールの方がらが本常の味はひ方です

(31) 戰

スを一杯乾して錐談にふけり、また往いで飲みほすといふの

- ル道から云へば外道です、グラスの中に水

Ľ

警告す!

と注ぎ込むは心なきつぎ方

冷し過ぎはビールの味を全殺す

**登から、**魅ひ切つた化粧もした 単ではあり、浴衣の自由で大戦な他は極く消楚になさいませ、夜の浴衣をお召しになつた時は、化

**水白鉛ならば、水刷毛を十分便** 

つて浮いた自動を落し、紅狐は鮮

くなるでせうが、あくどい化粧は 俗衣の時に於ては、その下品な結 果をびつくりする。程表はすもので

あなたの

ます。お人柄を思はせてしまひ

明な色がよろしいでせる、化粧上

外出姿をここ

いも一度自己批判して下さい

0 )(場)

| Annioの外出者は、 | 伴は、他がたくても結構で、 嗣の | 絆の袖は長くしない方がよろし **帰っておけば、立張な汗除け**にな 部分だけで間のところをちよっと

一わから枘のものが、音物の下から て主の部分が透けて見えてあるの 長猫匠はお年を召した方も

質のものですと心能はありません **医部長端 | から太平洋原まで伸びて行く記 | ロストフのドン神の下を通するトンのります | 完成しました、この配道はモスコース…… | 一般の道のトンネル** 完成しました。この街道はモスコー文……二段の道の大口の大口の大口の村四百五十里が「出来上りました」 コムソモルスクリン

ウラジオストックをごる支統の路も

れてるます

フリスとの同二千哩の道が今遠ら、歌する船も去る六月十日限りで引れる部で、レニングラードとテイ もみえたくたりました、液氷を繋

上げました、これは例年上りも早

上、下一段の近に走ら一北大西洋の航路にはもう氷山の影

完成した部分はハバロフスクから、ンネルは、

神を着るのならば、それも一緒に 胸では然山めた。にから山めて、一寸から多物の長福郡より看長めに へ、それから自分の身にきちんと お若い方も一様に自のものがよる いた。肥ってけるり

感しなければならなくなります。然、看前の際には、下音に配も往 私はむしこその反向に、變せて心はむくづれがし易いと申しますが 好よく見せなければなりません 一枚でも少く石で、出来るだけ給 あったが他のものをいることです 音前の際には、下音に碇も街

方でも、なるべくそれを避けて、

事 揃ったものが多く、種子のする時 前ったものがあく、種子のする の製けてみないものがよろしい。 に皆の附近に錦裳がなく、また皮 和も歴度が適常のがよい、同様の 色能が現れ、肌は無傷で、殊 のが良品である。

女…半様は、淡色で無地ものがよ ったものとか、取帯など、やはり

前が隆つたさらです。 めに無弦岩茶になり、じた、或地で、家主穀物も大雨と大洪水のた。

なされて、御無用に起っされるや しの始は、何楽到病点の御戒癖を 思はれまする。依つて、明日御越 名島の城に出路を縦へ、御主右を と反対した。安善守は、ちつと

官兵衛を立が、宋だ曹國に参らの 『イヤ、それは可かん。其方は

くも黒田家の思惑を続して、これ下がつたが聞より名習の人物、早 臣の中でも、最も腕削の勝れた者 て、萬事共方に委せるぞ や頭銭はよろしくあるまい、佐つ と、言つた、兵軍は畏まつて引

虀

型たんとなず 黒田親子の 黒部とも 一元もである。 配性の時は、 頭蓋 明の悪生恥である。ますれば、 物となつて居るが、併し、明日は鉄、総配など申すものが唯一の遺

されば、差隔のみを責めるわけに いへは一度も整つたことはない。 と申すが、この友房とても米だ名。は危いと思つたから、安醮守の家

ころには、近代式のホテルや飛行が辿じ、帯で死の谷と呼ばれたと モウジャガ沙漠には今自動電道路

設新の砂漠

聞き入つてゐたが、

讀

揺ぎで銀げし本日、何しに左接な縦翼以し居る。 段早友干代と申す

を申上げたが、御主君の御気質と

して、一旦、御事引班ばしたもの

あるからお互びに往来致すことは は行くまい。肚交、配他のことで

挑きによつて、名品の城へお越し

「挺、明日は御上君か、黒田家の

に相成る、此際に既て兵庫御意見

ら、既に作病を凝へるは単せであ 悪計があらうか経済、処者に対し

は是非に及ばず、依つて明日は、

其方等十五名が土産物となって名

製

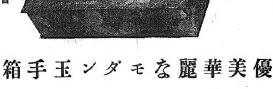
元賣發造製

二寺圓高區並杉市京東

所究研藥製大六

てもかならず器ると財販製しなが一散、強つてまゐるとの何せ、此上

は。り。



好

は で Vζ Ð す 衣

質 Ø 齒

生堂齒磨

贈

資

六本 齒 個 -+ ν

āt

慢胃

(りあに店栗園全)

ら、やわらかなものとながよるし 却つて母雌の線を汚くみせますか

夏は壁ひの半点は絶対に出ひませ ろしく、よほど機能の場合のほか

る人の方がよほど近くづれがした。

しても、哲律と音動の概を、断様れることがありません、いづれに 機のところを繰れば大して音くづ すいと紹介で出まて、肥づた人は





のやうなこはばつたものを召すと かなものがよろしく、涼しいこと かとよろしい、しかし、肥つた人 の形をよくあらはずにはジョゼ 王瞳とすれば源、明石などを選一です、名古屋間の芯のガッチリ などの組織もので織のやわら 解稿の厚い人など、風や明石一度の帶として適當でせる

相當洗煉されます

これだけご承知なら

さにして或無度までは確なしにす─ ☆―― は、あまり幅の断い のが基ばれてゐるやらです 物の袖は、冬のもの 平常大きく結ら影性のついてある。 俗衣化粧にはお話れなく

正しい形を備へ、十分に

「団兵師にお後せ過ぎ下さります

痛。

應症

が一番だ

へん思くるしい感じを見へるもの たものは、たとひ組であつても大 腹あはせのものなどで・ブタつい 小おんまり、きつもりと結びます

込むとは何事か合てのあることと にこともなく、 突然明日 お出を申 女子代どのを た一度として見

ます、登場の地質としては、身りは同めに扱く方が明しげにみ

いものです、進目と、交近いシャさる方がありますが、みつともな ですから、《清澄》といふ一部を ンデリアの下で見る時とけ進ふの を入れて、郷歌化班をな| す、草間、下駄なども、配色の影 とあつた文歌の量低をはくべきで

あくまであつざりした態じのもの。治癒せずに改画火空治せる臓を いものよりは、極致、パナマなど

調かずに年分明開して機の方を基

一円八十段

資生堂

ます



Ø

最 ø 茛

Ì 箱 Z 奥 は ᇰ 樣 術 L L 方 釄 τ

Ø 生

進

Įζ

かけて美味しく召上れ!!

カゴメ・ソース本館 愛知トマト製造株式食社

「滋養豊富なトマトの調味料」 和食・洋食凡ゆる御料理に

おいしかつた 轩

鑑井邑支廳

東 蚊とりで大將

j.

(6)

島 其一州紀 社會式株菊山除正大



石草映画劇場

細君三日天下 機能・富士・所載 投(監督)大谷俊夫 謀長(脚色)山胸灌太



どちら様で 一番良いしい 喜ばれる 清凉飲料で ŧ 中心京清报商品 趾合式株酒麥鮮朝

月末 演

個以上の一般とされてる

一敵の京東

狙つて猛運動する

ルシンキとはどんな所

團腴

ての價値を認めてゐる。現に角、

時三〇分開放地線入着たし夜間入時五〇分より。本時間 日岳京都園特作風作長谷川伸 W・Eオールトーキー 彌太五郎翼

耐

是 学 注 治 行 人题

意記城 酒井 七酒 島井病 赤一 道郎院

ルビ丸・京東

社會式株製鳳同合灣基



2. 8

おいて「九二八年以来な常族なされてゐた「四吋海域城衛用路直廊の蛛獣「熊君を行つ神班無候戦時代の出域に帰へてか、米薗海軍では去る六月十二日カリフォルニアの下

長宮陸軍甲幹統将東管氏でした東京歌兵隊に召喚而自己の事物に臨ったる四月十八日東和佐藤連衛協西大久徳二ノ一八三宮時陸軍道兵紋がカ中であつたが、端なくも郡内に按師灣駿の事實あること戦明憲等カ中であつたが、端なくも郡内に按師灣駿の事實あること戦明憲がカ中であつたが、端なくも郡内に按師灣駿の事實あること戦日

器調へ中であったが一段語を告げたので六日午後七時四十分陸軍省 る詳細な報道通信を禁止し引聞き越兵隊及知法前部開放者と共に

7

のに見られて居る

朝鮮煉炭會社

間様で果上中の松原暗殿副総設は ・ 野殿豊富洲中央銀行との通貨協定

は既定通り 鮮銀糸問題

中に取政へず中央線建設のため京 地理政部筋形長の任命が行はれる 宮である

名古屋見本市

鮮内各地で開催

アルフオンソ姓下

リーが第一である

ルヘルム三世で

のる本カイゼル 芸前皇帝ツイ

(所行發)

振春東京三六三三九郡

東京小石川表町一〇九

有名なのはオラ下が亡師中で▲

會服室で東封任用試験を施行
十六名に對し、六日午削九時

夕刊後の市况

へてみると六人あ 館中の鍵質は何人

あるかー

近 告白

**萩原庶務課長東上** 

置されてみるので

販賣網腦張

無條約時代に備へる米國海軍

八年ぶり轟く十四吋

・デイエコを配ること四〇型、附近に人家のない當地とはいつ、八年前初めて

とて我が要求を一跳した、我外称|洋地地においては三月田中ベトリ

刚造兵廠長官

一种指責

特産北鮮出廻り

附公同期比) が記は次の通りである(指価内は

水産市場は大繁昌

高一四〇)

北鮮海連開散

なる人・物と壁上高は 四九五、七一四世 二九、一九〇、九三回(二一、

騎係者より一

一萬數千圓收受

もつて四月中旬より東京憲天縣において担査監分の上軍法會派一、かねて陸軍大烈闘務軍需品問題ニ闘し渡職の偃趾ありたるを▲六月年後七時四十分陸軍省設改

た前、元山、咸興に夫々散傷する 木浦、元山、咸興に夫々散傷する こととなつた

北海得能の北非三張出題りは彼近 地域線、調佳線の水害に依る不通 が全く比絶し更枯期に入つて閑放 となった、北鮮海頭界は使に一層

1 (10、六二一國) = ペ (7、四) スマキ(七、九六五一 メ (六、1)

で好成績を「げてゐる 四)テヌ(玉、三一五回) マが成績を「げてゐる

**孝にして西山文雄は同紀に勤初中同顧用選商人より數子繼媛疑者は除卑遺兵願除革技師恵山文雄及前遺兵履接官** 

歸任談

(阪

日田、三庭館の期待を裏切って現してしばく、繁観せる場面を照明すれば直相及首相側立の順形、女田一間に相當深刻な射論が行はれる観響 謝重型顕素の退出なきものと見し既田町相を除く脳路十二名の中一ることとならう が形式説明を聴取して重要國策決一提案の説明を終つて引題き第二 が移民

務省への報告によればストモニヤー

【東京出話】六日大田大便より外

パウロフスク領事が蘇聯外交代表]して理動の交渉を拒否せんとする

ば森龍丸、シンカイ丸も亦飛揃さ 丸、流音丸、海口丸の四級に限ら 判明した所によるとソヴェート側

八日ソヴエート

わが方嚴重に抗議

脚じて午前午後に亘つて明備さ あり織つでもの他各部間より一

・ 平生文祖より最初教育制度は、

光に関する協会説明が行はれ、相の限力、航空、海運三天國策を別問題の先づ林法相より司法機「要國策を持ち寄り中には戦世末戦

相の電力、航空、海連三天國際

| おれてあるのは即出郷資産「人で | 當別ではこのベルーの膨度を不可 | した。なほろ紋の側葉を縛らする。 の地大峻峭で がした | 現れと見られてある|| 原とし次に反省を求むべく大日が | に今回の世紀の殿辺に問題には謎 | 現れと見られてある|| 変別でほじの | はいを値立に整っての窓が延續の | で見っている。 ではる紋の側葉を縛らする。 の地大峻峭やイナテス辨真が出現

北洋漁場をめぐり

**ふ第二回國策會議** 

を提案説明せん

文各相より

その他が提示され個類は

が野 現質の問題として恐れ難い形然に の如く一人で二万至三の提案を行

大使は即当に日本則が何等蘇聯則 のをしげて抗しを促出したが大田 邦船の高温度なるも

指摘しその総和方を開望した部大「標準を含すに外ならない間温調し、「自会力」に発達して記録というます。 「東京協語」 ベルトの郷日優が成一本人校には「高コ子人を超過してゐる」 調しこれを「強すると共に本年度観測は、本人校には「高コ子人を超過してゐる」 調しこれを「強すると共に本年度」 「東京協語」 ベルトの郷日優が成一本人校には「高コ子人の参数で右」の表演に終さて、さものなきを通 の抗説に脱出すべきものなきを確

明確にせず言を左右に 一需品調達に

と証明し四役の日本漁船の曳航地

領神を近の事實を捕へて領海を心流野の監視に皆り不可式力による 留せる都質を組織し蘇戦政府に関一取扱ひを要求してゐる 密維行為の判定を下し不常華維抑

央政府が高低船として乗浦上たり。駐告の電影に出ている。 既は自皆数によるので前國総行まな漁群その後の遊音を配合を出時、政府は蘇城権根指統が次年は特に、め不可抗力の都質と判明し釋放でを漁群その後の遊音を配合を出時、政府は蘇城権根指統が次年は特に、め不可抗力の都質と判明し釋放でを漁群その後の遊音を配合を出時、政府は蘇城権根指統が次年は特に、め不可抗力の都質と判明し釋放でチューゼ氏を訪問、奏浦された日、曹線なる歴度に出でてある、管國・十九億令をおり、十九億令をおり、十九億令をおり、十九億令をおり、

ソヴェート既府の注意を喚起する 戦は担當数に上るので管國政府はれたがこの配第他による判析の被 と共にソヴェート官態の公正なる

右の外助講師

ある。しかし帝國政府はソヴェ 島のオンヨコマン附近の関海侵 数扱に協力すると共にオロチョン に開催して極めて飲かなる問題で 行製語は日本汽船の不賞金加事性を許可されたい」と申出があつる 既の領揮使人を許可するに決定。 マスクより現地に向つたが、 説がこれが歌助の違いトロ

府の公正なる態度を明ぶすること となってゐる。而してなほその後 氏夫

町六丁目、

大日本般市メンス研究會理事 大日本位育ダンス研究會理察院女子治等師範學校改 全日本配育ダンス勝盟理事大日本配育ダンス研究會長 師 四朝二

石德富寺避 倉富田谷井 繁郎藏夫

氏氏氏氏氏氏 修了證書・受講者には修了證書を交付いたし 込一所、京城府太平通一丁目、京城日報地内知識實質保好・受け京城前駆撃攻事務軍内官事が対象後ひ・二宮紀

校・普通學校・幼稚園の男女教員曾員資格……女子中等學校・小學 日の二十日間(毎日自午販八時至午後四時半) 及び一般教育關係者 費 金 多 图 文部省體操科改正要 ....八月十六、十七、十八 京城師範學校大講堂

十一権威ある本語智智に十一十一権威ある本語智智により、多種智のアナカ語の方は勿論、同版知人務ひ合せ語つて参賀されよりで、多種智のアーベンを控へて所道に精進される方々よ

中 26

H

報

體育ダンス度 业业社

京催主 誌雜話 特價 六 拾錢

## 戦へて間。場になったものである(紫真はその特盤 wait) 明治殖窟山の株の服窟では元 鮮滿拓殖と同時 **姉妹會社創立**

議會に於て五国上げと決定、八月 で船部財便は五国引上げの七十六百郎政規則の約米進書に対象。 五圓上げを請求

荷主側は現狀維打要求か

には何ら憫れなかつた、これには現の樹宮でその他具般的の問題、は基度で竹下穴在から聞いたがは基度の地域の樹宮でその他身般的の問題、 **原ら實行万面を掛富する姉妹曹原内に端鮮拓強公司を新散して楽の實行については別個に協訊** 世とする計量で且下版立即版中 就ては總督の窓見を何つた上で 近く東京で曾見の上部を打合せ することになるだら、 総合に よっては護確することになるか も気れぬが且下のところ割つき

相川本府外事課長歸任談

日は配面資本で単に本月中に大印 関子が、個周部、京郊、仁川、大 変な利、個周部、京郊、仁川、大 でのであるが新鉄州、平嶋、沙田県 の資金館を地に阪岡州定人を地 の野球県には政陵網の城市統制を

産業國防上緊急な 路施設の擴

**も有してみるので養殖職郷森から赴も監破形され施黙の搬元は松五分の一の武制版まるもので轟躍、選択その他の手様牧総裁は内地のそれに比板して四分の三を有しながらその馳誌** 決定を見、同窓の通過を極力期すること」なった、頻節の海 「樹元を記述し近雄談において翻進中であつたがこの都総の符局では昭和十二年度宜要国策として簡単沿岸の航路航設 殿置されてある、燈塵の増設、無線信號のご

してみる

遞信局國策として實現を期す

貢献するこころ大なるものがあり、しか陰料低下等、ひいては半島産業の開發に れが質塊の瞳はやうやく内壁の施設と揺近出来るはずであ 時局重大の折柄海道側の要認もあつてこの施設勝光の質 無着守燈台十六ケ所、無線信號所十ケ所業として二百五四四で有着守燈台登山沖

住んでをり▲選 ルヂナンド陛下 切らないが▲ア 今在るエチオビ ふとになつて ○兵 營 因 果怪 談 ◇海 軍 大學 物語○加藤清正の幽靈 ◆睦 軍 大學 物語○大正昭和心中大鑑 ◆姦通事件の種々相○大正昭和戀愛大餐 ◆春 婦 色 魔 列 傳 Wind 非欺橫領三百調查 大殺人事件秘錄

ルフオンソ時下

職機のために活 物間制度に出席 エー世階下は▲ 追出したイタのるわけである。 れてみる本イ 世界各地上 頼を失するわ チオピア島俗 ーラ階下と のも一番で▲ 人この仲間に 39,486 

愛戀 業職

+

彈 校會場場破事体

★ 報告★ 報告</li 捕物実話 密行刑事

念紀年周五

文部省體操科目改正要目準據

習合曾

備つよ!

秋の運動會學藝會

1 德週間

間について、ある方面からはげ 旅職が出たこれは近頃往目 来に内地で行けたる

成功すれば廣田内閣の偉績

ても従身である

於て現内限が一畳となって實行が

Piうでもよい。この今日の時間に

批談つかの項目を七つ八つに限定

制度の間を脳け通った結果。 この 三長官は歴田首相の官を受けて各形然を製館した駐沼、次田、吉田

針によれば國策階級のプログラム

から殿じ詰めると、今度の國策版|項目は凡そ左の如く三十歳つの多

内閉制度(省の際合その他)

一、蜀支經濟政策特に北支經濟即

御助悲奏だけでも三百四十萬石彦が、数によりて保らる」ならば、 の生産である。(つなく)

知る動句が意見される 「内に明を戻は永段し得ない」 L奴隷に関する 河就草案には次の

民主黨記念

しものを非常時局のドサクサ紛れ然しこの中には何年越しかの店晒 國策の洪水 できる

土木五ヶ年計歴

此のプログラム

阿妮女伽黎里恩

脚、空影業の態典、下薬脱桝の語

高増のため、近來顕業器大に塁

撃、埋蔵組とも極めて豊富で、既

共に全部に誇るに足る地方にそれと、産力は破害中心

黄海道を突つ走る

顧に冠絶し、淡水魚族の感息豊富

の目ざめ

に近内において鶴見された態能は

英國小學校の交通訓練

八〇瓦(約五七日量)二五瓦(約五七日量) ナモニ門八十銭

全快保證す

ものなら年月間後に全計する。 野町が野町の健用を置くでは、一部で用が変れると一日部のが変れる。 野町の健用を置く 一部部の 受ける から いまれる と 一日部の かがれる。 野町が野地の できまれる と 一日部の かがれる。

十數萬の生きた根治例

明記するファ 急性・樹人用アリ 御註文ノ 節ハ御

電話三回{| 六八大 優替東京三五○一九 優替東京三五○一九

ブラオンギン

して主なるものは、値かにイカン

失業無用!

種 な 根治する

*"* 1447.

行小型寺(三枚)で宮時加州及び羅州領一、二五九、九四人第六七の加州銀

羅府オリンビッ儲かるです! クの儲けは一百

オリンピツクは

クの組織委員館が去る六月二日附にて スに於て開催された第十回オリンピサ系成は一九三二年八月米國ロサンゼル

愛明療法

的界世

醫師の專門淋病藥 素人が絕對安全に使へる 尿は動きで澄む

田 谷 利 男

約二百五十萬國を儲けた際で記録破り ックでは話迹数を新引いて平位換算で 脚窓されたものです、即回のオリンビ

内服薬では絶對に根治せぬ 病院院長 醫學博士東京泌尿科 醫學博士

と野殿を刺戯して加宗の出るか如き背響作 財があるから慰認ある治殿の項な専門愛師 は、所歌襲に瞰をくれず貳に似形ある郑雲 が果的貳所和閩港で慰売日に袱浜を挺治す が果的貳所和閩港で慰売日に袱浜を挺治す

從來の治療薬では再發する だれは世界に運用する絶数資源である。

では、二、三年苗園で、前城市大のやらに太旭、「古の桜郎部内にワシントン切代大」しい記録を作つた。その上スタラ切た。発起の真の甘味のわからな。 いったに、被翼を實行せしむるにとが大、際は一八五四年は後坂紅に至る凡。 タラード鍵と云・4十三蔵の女生徒が、二、三年苗園で、前域した立。には脈側にアメリカの娘皮に躺す。 飲かまず徒形で通数するといる姿が、原は一八五四年は後坂紅に至る凡。 タラード鍵と云・4十三蔵の女生徒がに、一、二年苗園で、前域した立。 には脈側にアメリカの娘皮に躺す。 は今年五月編輯 一を年間観枚の独切た。 経動がた成前規定にあるのを見た。 超和點はアイラデルフイアに大々 米国ケンタッキー州にあるホワイ健めな成前規定にあるのを見た。 超和點はアイラデルフイアに大々 米国ケンタッキー州にあるホワイ

第の伽助としても、粒三酸四千萬 家もある、規和説の中奥の人であ。 野見に出て碗とといよ健薬な少女珍様、穀塘せしむるにある、一本一 総説の起京せる自能の米園家法章 | 「ド戦は関家の女で製業の限には一般が作る。 | 「本書 フィッ・・・・)

最後の一菌まで殺す ブラオンギンの超威力 の折断をつけた前人未發見の神秘的観測で

なよ脚足い深い管が多数ある。 袱器が寒間に施酸艦とごふりに見えぬか寒間に施酸性とごふりに見えぬか寒間に施酸性とごふりに見えぬか寒間に施酸性とごふりに見えぬかり寒間に施酸性とごふりに見えぬかり寒間に

功すれば四田内閣の『無政一新』 (報) たち。その時私は長野 | その夏禰が急下落一貫及三面盛に | 大窓舎であつた。長野縣の総本市 | 落ち、農家の総版は、非常なものであった。 長野縣の総本市 | 落ち、温揚が立たない版派であっ

開設には現りすれば國策的監配議一つた。二十有二歳の若さであつた たい然し今度の国際一概本市を中心とする附近一帯であ

結果は、結局いづれも中途半端な一

蛇螂とらずに領し去る危険機しと |※相 掲は、殆 ど 隙 側出来ないで から随分元軍に愉快に強いた。大 **販野が跳越した。その時私は長野** 

生絲並に繭相場の足どり(鼠株省の統)

る荒野菜は、この惨めな細胞によ

丹毒に對する血清法の意義

の如きはあまり監察に歌迎せられ

五石目標としての、標系処職に、別を加へ、今日に至った。産職百

**奥石殿にて、一選一選項産理を一郎にゆくと折角前程も多た経験が一年は六十六萬八千億石、以来六 は、どこかに無理がある。 橋繁賞** 

西流相交出して、魚族の回源が起 一るのではないかと気をもませると

交通が描して不便であるから水産

八七二、二三厘にわたる長大なる

殿因して、これまで完全なる水 く、そのため自然屋内にて配売 生先榮藤佐長院病原音

東京市芝属通新町十三 合 44 河 原 日東観察合名會は記品

「雑南」二日夜十時三長縣を逃げ

龍井市街を襲つた

【書き】北解線道質師局では既往

匪團を撃滅

**恒田陽東軍司令官の統裁で** 

新学教人り込みいやが上にも上地。 込みは四十世に第上りを賦方面からの映画。[ 光書] 頭原詞の宝金地談面計中部とあふつてゐる

【延言】 去る一日午前十時年時年

二、三國の荒藩地が約五倍の十四世紀還来の如きは坪

北青の電話会設

相手を撃ち

要としてゐた江陵地方に去る一日

の降崩あり、藤雨峻じて

【江陵】巡日の臨雨で田植は たかなは男子ミリ程度の雨を必

江陵地方に

金ととになったが一たびこの報告に登遊道は七月上山盛上観明され 生涯で加川温泉をつなく仏観不南

参門者で七十八名田曜上極科教練無別不参一名、病気事故による不

延吉の

るや沿線上地は低然すさまじく

壯烈な演習を展開

茂山對岸

緬羊百七十頭

◆土公惟一▲宇平皮酸▲中原正 作~森山葵花▲遊游村一▲金明 作~森山葵花▲遊游村一▲金明 遊馆祖《那問人木州此《李瞻 遊馆祖《那問八本外州此《李瞻

本 | 十頭は左の如く各部に配給される 助山、三水巻二〇本北背一九人 要の、長世、端川舎一〇

北街 九▲

岡山縣特產

甲のところこの程城建支跡機事局 現都智が一味を一綱に檢験取調べ

つた大肚川が回住線の明通以来地一が一丸となって脳公署の敷地は全

前台がよいとの理由で内野湖有法

開始した、健保一般村に過ぎなか

は最正限に表面化し積極的運動を一りは原金機からみて交通、音曲

第午所有農家戸戦中その三国三分

に分配した に分配した に分配した に分配した

まだ無数牛闘家であり交大側脈の

の二十氏に決定、近く第一回暫合

頭を購入して各地に配給する語

方面四ヶ所で左記日取りにより神 特面品の収路旅大を図るため北鮮

【清津】間山陽藍栗協館では問題

荒地でも十四、

五圓

41151

を入む大穴、上三六**国、**常二六 を入む大穴、上三六**国、**常二六

別政協協加は八百五十四萬帝國で 一大八二風で昨年同期に出 )天六風、韓人一四六、一七三圓

昨年の五百四萬國に對し肉七別增

出三、七〇七回、移出三一人、

「城準」六月中の城建内器職は欅

要生生徒二国、一般二国 前年同期の約二

際業を開始し、八日からは完全に 公司の手で管理が行はれるわけで

分は七日から

倍

六月の總額百二十六萬圓

南産業鐡道敷設の報に

沿線思惑買ひ横行

中山御生長の赤龍牧場から二百勝



ては三ヶ年はで映工さずべく意識

映画5陸の生

等あられ七、八日頃本年、延吉 (後はらといふ難過女郎を見ともととして知られた、建画僧夫君に「きった はら見つのがよる 4 のでき

立場をかへて平器サービスに

切った桃色脈土のためにその引き

栗鷹越優獨恭悲歡武は料理量組合っと毛色の短つた永年蝦靡者と蘇

主催の下に二日午後三時遊園を云

部長を訪へは次の如く罷り、 紅匪軍潰走 **罂粟液採取** 

**原理**」師便學長股紅期成會的被

**咸興師範設** 

る何處からか〇〇〇〇世間、知政職を開始した失先午前九時年 機機数台が旭井の空に飛来、我が が一般に祖井市街に接近、開船に として肚然な攻防大心的を掛行し

関一郎▲未古典樹▲高田泰一郎一職んに黒煙を吐き始めたので批批光野支力助▲旭田原代八▲狩野一間高齢超縁高貴三ド世界を送了

橋に近接架設

川事長は互選の結果安造滅三氏が 削、十一時から関際ホテルで開催 **笛選した、なほ同島館の幽報によ** 

「清津」 清津労扱心の買い

清津勞掖祉

個供給を明始することなった

が動物に動しては日用心器品の

| 批技が實現せんとしてゐる。 して老の面目を一新、間時と 北7年 1年)の大鐵隊曲任。鐵體施觀をなし明朝の東路と れてゐる終期温泉(國城縣西 『諸県に数二十萬国をもつ)

とのよくお後和報を寄 関与する貴地無深済民に捕せら る・勝米公島共宜しく館指導を 名か

州く探認市報を寄

する。

製作品目

都市上下水道用井地灌漑及排水用其他各種ボンプボアホールボンプ

度に民合和の兩氏 別に送朋の宴を提 収に送朋の宴を提 では新住仁川巻長 では新住仁川巻長

な総談に伴ひ将來を有望観さ、業では、傍飛四嶋を設立して(媽達) 陸近境鐵地方の急減 ある秋、日マゲと前側返車下

戶 | 遊伽第十七年日を助って

吞川神社記念祭

0

新鐵橋

地質調査班が現地で試掘

を磁して記録消火に努め、竹街地 る火の材の中に磯部消防除が死力 る一方總領事館の火災には雨と降一攻防大川雲の幕を用ちた り、各主要技術養成に萬金を期すく喇叭の青によつて二目間に記るり、各主要技術養成に萬金を期すくの青によつて二目間に記るり、各主要を表して、 國防婦人質試ら時を移さすそれぞ一形井郊外飛行場附近に敵頭を包囲 船舞が隊、最勢削防、國防青年館 | 到着した延吉よりの援軍と協力、 の郷印はもとより微美騰、總質群|海蘭河の右岸まで退ひ立て、折線

く明叭の音によって一日間に亘る

咸南の傳染病

大巡覧は趣疹チッス防災事務に當一ための四人目の稼い犠牲部であ「『皇宗』咸北明川紫緑岩の河新建「長振した、開暑では趣慾チッス 延吉の點呼「吉」延一時計店 またも殉職者 發疹チフスに感染 河野巡査遂に長逝

背河南法院の互配所に役人事性が 起つた被声者は法院被務市即海域。山が三庭問種強したとけで他に

等級離な事情が配在してあるらし手で取割へ中であるが裏面には担手で取割へ中であるが裏面には担手 時期にだしぬけに腐はピストルを 一般して皆を別れせしめ自分も己 別は日下警察職大御司法科長の 元に切れず危祸の状態である、 敗部を確ち貫いて自殺を計つた

題青年館では世家金松山氏を講師 として階級群智會を左の通り開催 館別六日から月末まで、場所位 動質) | 午後四

した被害なく単脳間はこれで完全 性を壁風されたが思路のため呼便

仏興温泉を

八遊園化

一十萬圓を投じ

會社設立の計畫

|| 決定 || (決定 )| (決定 )|

赴任

市山北靑署長

今回館場習具に影響・後位は安選 【北青】野然料豆市山里大ル氏は 會率に榮轉

市山岩長は昭和九年十三月新智器長歴田宗五郎氏と決定した で現由 い良番 的調









+

の試合を開始に対象の表現の

羅津灣で ブリ人 漁

オト脚方面に移りに入ったが騒 尾三個內外で

跳に移出

【羅達】記述、職律職革島神に大

調解挟をみるに至った 

煖房、 藤花, 給水用品 が用品 (単品)

||川口蝶超特選||ピツクアツブ 全國各店及樂器百貨店ニ販賣ス 賣 簽 元 四九爪是可新話電

(級高印螺) 蝶 々 バ ン ド

鳥に

水防お 軍線 ラッパ・ハーエニス 製 虚

1 中

カヰオルガ

整替日座大阪元四八番 整替日座大阪元四八番

日用家庭諸金物 大阪銅器合資・宮社アルミニューム 大阪銅器合資・宮社 (商報進星部祭四機學)

大强市東區南本町河丁目

中地方課長以帯の事務極限に登川上五日ま

(星鉄型卸り頂に音楽器) **目丁四筋橋本日協南市阪大** 

!!ル時7芳袋的對極

] ]到南的在线》 = 地容

器樂井

赞三二一五支建

店

ンチキ賭博 子圓捲き上ぐ 味八名數珠繋ぎ

月十一日色内地町李問國方で開塞吉龍(To)外八名は失謀して本年四

|脱さり外八名は火撃して本年四| 一般生五十四名域||坂津|| 臼内傾町六〇八頭士西艦||柴病は(前年比)

から一千回をまき上げ、更に五月 を使用して詐欺諸関をやり金熈柱

と著しく好成績を示し單に融管テ 名▲現掛廿五名滅の百七十二名▲全治二十五名滅の二百二十

現計五名滅の百七十二名 死に七名滅の二百二十五 元二十五名滅の八百二十五 十四名滅の一千百六十六

|上六日間町金國準方で同様手段| フスと痘瘡のみが間年より増加し

金龍品から一千四、都合二千回

人金を帰取逃走中去る五月一

樂草酒を發賣 門家に委職して歌草のアルコール蝦草を網羅してゐるのでこれを敬

野地切主など各方面の智慧をあつしゐる、建報機関一帶ほとんど各種 孫當局では白樺木彫白樺緯策監| 主となつて製草酒の破究を進めて 図典】 赴 知 島 財土 産として 咸南 めて みる が 地立では 長 在 川 技師が、 地 智 に 群 焼する 「 赤さむし」 赴戦高原土産に 咸南當局の企て

部は板灰

本府でも商工水産兩課の意見對立

**邑營か漁聯直營か** 

が國際運輸からもいはゆる國際試しる模様である。 決定態変すべく理解を眺めてある。 合せ近日中にな · 佐館選すべく理論を眺めてゐる | 台を近日中に記書な異才を認義す一ヶ月間の観才を基置とし意才を | 美か美田されてゐるのでこれと変

一番川神社では七日午即十時から風

全農家の

校郷土官および長の演習召集は來

ら三週間、歩

家庭用諸金物卸

題の整備を持

大阪優良品商店系

有畜化

元全に接收終る 一年半に亘る紛糾納まり

新公司の營業開始

を観した国策映画研究所では今日を起表して映画国策に一エポックを起表して映画国策に一エポック

▲西嘉和勝氏(江清點首點指導官) 同上 同上 同上

開発報首) 二日

曾 一日逝台報

校 牡丹江方面

ボンスシンシン 會合 直對 神 藤

M 地家に評価

版ポンプ #w/ 大阪市此北區小江町 一二六七番

3 河

童

仁川月尾島プール

しくチームを組織するととなつたなほどく刑務所。 耶路などにも群税税 0811025 15 金泉軍優勝

2000 000 A

前試合の疲れで

では、いている。 同じく随背協會手僧本並仁川で同 足も出ないといった大いに考 後週の高域解贈出一門の 三国・ 大町 は出 水ない が、 元朝は出 水ない が、 一園・一の しまっか で、 一園が出土 一個 の 10 回り に 一個 の 10 回り に 一個 10 回り に 10 の 10 回り に 10 回り に 10 の 10 回り 10 回

### 四人組チンピラ 内地人宅専門のかつ排ひ

川署で取調べ中

の李麗秀(さ、崔紫寺(こ)丁四 かけ伽藍芹野師霊子愛館中山魁太の李麗秀(さ)、崔紫寺(こ)丁四 かけ伽藍芹野師霊子愛館中山魁太

仁川商議理事 特別議員も

命があつた、なほ商制理事も渡辺田忠明長に直線特別部段の正式住

どもに軽令

【仁川】吉崎就願長に代り新任小

無手隻脚氏講演

にこの光輝ある記念事業として経営を際巡何れる監測して理要、更

一回気御内職合調智を行ふこと

朴、野断题————黄、朴 副南流手)――銀布原指司令(宮眞は左から優勝した朴昭烈

李武直、金校生を四分し小月尼島

で各自三浦の自吹やヤンプ生活を

をかれたやヤンプ生活をなし、夏 第中的近で四、五年生は軍事政策

統營の春繭

無発許サイ

に磐行、郊内七ヶ所の各組頭、小頭

選式は四日午前十時から野祭者 ら消防組頭に下腸された令百の 密陽】型本消防協會總裁官四下

光榮に感激

令旨傳達式

日球唸る熱戦

ぎくに番狂はせ續出

興味百%の庭球南鮮豫選

釜山朴·野副組優勝

午後四時概論した 「百六十一回で昨年尚別に此し一割「因である」 「百六十一回で昨年尚別に此し一割「因である」 「百六十一回で昨年尚別に此し一割(因である)

統營の鮮魚

均を示し入船数も半碳し懸む各級九分の破となり数量では六分二の

祭は四日午前十一陸現墓で翩惚む。即に金知事、松島内孫都是にも同ることゝなつだ大昭測候所の地蔵、若原する趣を答へた、たほ一行は所外新岩洞匿籍ヶ尾に新襲抄轍するやらにするがその他は来年度に

多数列席の下に嵌かに割行された

猛暑征服

浦項學組議 貝當遐者

田中忠三郎(新)中岛学吉(新)川端绿太郎(前)代据泉城(新) (新) 大上哲夫(新) 超岛美兴(新) 新州城縣(前) 阿州山林縣(前) 阿州城縣(前)

校生徒の水体、來る九、十の兩日

訓練などを行ひ、仁川商業でも全

領をなし學校と家邸の連絡をはか

難事別定、生徒の召集、既治

近時をはじめ夏季休暇中父兄辿

では経管的観を描て、テフス限を注いである……既に仁川中學

の夏生徒の豊野には一方ならぬ [1] 所内各県校では猛勢災ふ

プラン樹立

日午前九時から小型校議堂で投票 「浦項」現役組合では記述器は五

午後三時から朗張の結果當盟指左一つた外内地人歌門に節節を願いて 頭その他の事由に依る難機者あり

**网始午後三時終了、有極者數四大** 一、投影数三九二景で七〇紫の出 なほ除罪を致める見込みなほ除罪を致してあるが、 | 題人りのハンドバックをかつばら るたことを自供、**動明した抜いた** 町二大西光枝さんの郷金四十餘

後一時雄萬町価額使忠応方で花島郷めてゐるが、去る次月世九日午 組を五日夜仁川智で機制収調べる。り際系干人に達し盛度であった

は、一生に近近で見ては、「1年の一人二巻」窓際であった。一つたにも持らず適直を極に凱放を観った。金鳳様で『インセラ四人』が氏の「母の夢』と述する縁似る。たった華紀だ原華れない原境であの季能等(こ、福楽地・ビ、丁び)が1148度で最高を書きる書き、日本日本 が命与武を勝つて刈取が手廻れと で称三週間に重り管内の脳付属症間出掘所では来る六日から影響数 ない限り削手に劣らない成総を収 好なので今後天候に大きな疑惑の める見透しがつくに至った、なほ

【翻典、去の二日午後一時半から 新期率に引搬される語

軍艦拜觀

大邱の郷軍 大嬰鎭海へ

**釜山】加徳水道で訓練中であつ** 

▲石渡新清州塔長 七月午後五四十分列車で出門赴仕

後 十月午前八時間

軍の指統二十七度は十三日戦軍人 で、十三、四兩日間一般の報酬が で、十三、四兩日間一般の報酬が 公三一 佐藤は加藤司令官指師のも 経理能のため組く設定である に旋艦地區、羽馬、那智以下海 清州陳情團 は隔時列車で士三日賦得へ ▲本村新館川沿上鉄形主任 六月 ▲站川新羅園者長 七月年前九時 ▲水畔甚次郎氏 (貴族院擬科) 五 配と同遊四月清平に一泊、五月院段、堪游和、江上同法院監督街小川勘等法院長一松下清地方法

「清州」機理の長と立即の物が記 ●無滞終視(新任仁川岩技)検拐 ▲三上北郎日々社長 四日留任

台起版(高女聯党独設機二萬六千世地版。 編成を前に積物量原螺旋般、上水は七日相版へて上城、明年度異異 国)等重要問題につき本所性局と ▲大川思山岩原鉄部 四月间上 ▲山田咸県和務所田世主任 同上 ▲山田咸県和務所田世主任 同上 ▲平井手安認整察署長 三日本社

從事する郡、金融組合願以に原事 に闘する知識を超算せしめるため るとに決定、これには各都から殿 門記念を校で記事職問問を明問す 【資別】思北道では監付の指導に 郁長)二月延吉数吉林へ

▲提點氏 (步七三)附中佐 四日次

用されて居ります。

注

た人々に新らしい榮養剤として旺んに賞有し、すべての病弱者並びに榮養の缺け

穀友勝つ

統營郡各漁場

要で、ほ父と共に見労働者となり 町四の四労働者・蘇邦蔵の長男逊 口川街で働いて<br />
たが、五日午後

運かつたくめ罷死した 六時半切魚間島原派町の屋壁でお

これまでは榮養が飲けにと言つて、肉だ、卵だ、アミノ に關する觀念が一變いたしました

ヴィタミンが發見されて以來榮養

複合體の補給が必要なることが判りました。 そのためには平素の二三倍から敷倍するヴィタミンB 成分を、血や肉に同化吸收させる方が著るしく質効的で **慾を旺んにし、日常食物そのものに含まれた各種の滋養** と考へられたものですが! と蛋白性の滋養品を扱ればそれて足りる 一今日は、それよりも先づ食

つて腕側に提供し得ると言ふ大きな特長の副産的に出來るため、効力に比べ、至 豐富なヴィタミンB複合體の給源と間は 本劑は先づ胃腸の組織を丈夫にしその働 れる麥酒酵母の製劑で、しかも麥酒工業 エピオス錠は――あらゆる自然物中で最 整腸 榮養 食慾

があります。

❷消化を早め◎榮養を高め ●便通を整へる四つの作用を併

きを活潑ならしめてり食慾を進め

る、馬山所では、この海の男士を

通り

され午後三時五十分閉門服練左の

鮮産品が洋行

斡旋依賴の通信が

道路改修陳情

金な動水に磨いたが仁川府内だけ

紫煙景氣

大邱符内は 空前の需要

で一日でゆざっと七百六十四五で一日でゆざっと七百六十四五十十百五十三回の三回、二四二十七百五十三回の三回、二四二十七百五十三回の三回、前年回別に比べて二州四分十二

忠北農事講習會

明をあげた、居仁原指線の住民も

ので断水は免れた、肝水道係では

位置工事を急き六日午後二時心に

大邱 联到支局管内六月分短

社會事業擴充

川宮で敗調べ中

振りの経験入街に活気が限つてあ

味百パーセントの皆狂は七敗出結 が姿を見せず、馬山黄、朴組が眠 **新毎山組の陣盤に別迫するなど典** 

妙島以下二十七役の環境は去る州司令長官加勝隆襄中將野栗の旅艦

「馬山」 我等の海の渡り第二個風

大震は五日午削九時から釜山高女

トで明は、本年は毎回鑑烈な

燃なくされた原理選手観用計算提

(T) 本 孫

りは去る廿八日まで一王二百八十

昨年の二倍

大暴れして 行人を擽く

水道の送水管が破裂して

尿仁間の斷水騒ぎ

二貫、代金三千八直二十四である 「統役」那內番數件同股数の出題

カーで統定中断を組んだ単を挽い日午後一時頃四町二附近をサイド

日 柳町三季北和でに正

さんを練き回した、春鶴さんは金、てゐる版内果木里二五李春福(元)

里二十七町安治川手明水育油の送

新集直では立く此質事業へ、宗教を設制に大陸談博を派したがこの を設制に大陸談博を派したがこの

【仁川】 露栗 社 水源地 から仁川 |で | 優北の銀状値に將来を考慮し

水でが五日午後三時ごろ自然に被

最少所に自動道立仁川常院に収

でしたがなかくの類似である。 信事制領は無効許であることが

したので水柱浦町は炭綿の下に微数、水源地では顔もに送水を停止

て将来の承諾加光型化に聞くるこ 家中から委員を選び委員館を作つ

手では採り帯域の傾向であったが

本年六月の質似は全く態酸りの歌 草質行きは例年なら四月から七月

總價行領十一萬二千四百五十二

【筆山】天候不良のため延期を除

る温暖を掘つて戯戯する大郎選手

プログラム

日から加徳水道を中心に訓練中で 見るが解析製術と馬山街へは十三

即ることになってゐる

道稅事務研究會

一ゴス街のエーピースール面質から 西アフリカ英語ニゼリアの首府ラ 一類込んだ快ニュース ――個月明 即へ助致した

【幸山】遠く西アフリカから朝鮮「左部生産品の取引希望で斡旋低料

【馬例】原恩即有志什雜話、随

**便定関係、棚店予証** 自利車、洋燈、同カバー、家具自利車、井窓開路

日午町村捌へて忠北道郷に村西王

**西部の取引方針旋位料が釜山岡城」の通信に接し商職では値に関城**商 國朝氏と報恩、機北の阿面長は二

大邱測候所

**【大郎】總工程約六萬國を投じて「道路は本年中に自動祀が進行出来「魏へて三日午後入時から道師院総会を持ち、「大郎」、「本光学・刊稿 みなっ」と原館、月萬縣長は満浦、僕に聞「みる本府の増出、竹内の視態記を** 近りの壁上車箇所は近数の補助。 道当は地元民の配役により、限道がは地元民の配役により、限 と時間、甘西郷長は河川、博川田

方数化三年課時間のため東直して業長、宗成家有志等はたまく地 【大四】所内心前事業家、政化事

竹内の奮鬪はたい感激

岩の死力を強しての新聞は唯態

對京城府廳野球戰

涙を呑む

**あることは特筆すべきで、一般語彙が流行品のトップを占めてから腕側のビジョン、刷みの侵** 

清州管內煙

本年燈草辦作面极一千七百十町形 【海州】野図局通常出版所監内の ちかく検査

は調査中段援機任者と地方数化主

上 五川午町十時十九分から仁中球山 で 写得行第一次観光機製配銀第二部 で で現行第一次観光機製配銀第二部 で 現子で側側の定式水機・四三回機 で で現時ではた式水機・回三回機 で で現時ではたって機・回三回機

**効な∀・1級合館が含まれて居ります**他の機嫌毎に比べて敷挤の治療的に有他の機嫌毎に比べて敷挤の治療的に有し、は要適含能の執正酵母に限ります。

ての変酒酵母」 一、商店のでの高来大年近景します

協力し去る一日から七日まで郡区

【味噌】郷水藤原では道水産郷と

1000錠:一円六十銭

博士 監 墾

(可認物便露趨三第)

造製近最

ですが、クラブ乳液又は薬用クラブ モンの作用でサッパリととれます。 美身クリームをお使ひ下さいーホル この部分は、数や小じわが出来る所

決してお化粧崩れがせず永持ちします。 下に一番よいクララ美勢クリームの上に、ツこの部分は自粉のツキにくい所ですが、自粉 そのよいクラブはき白粉をおつけになれば、

### IJ. が、岩板で

者返って、弾力のあるみづく~しい肌になることです。効力の吸い綜合ホル クララ美身クリームをも使ひになつて先づ驚かれることは、自然に地肌から モンの作用に御注意下さい!

# まですを切るまして

お使ひになる程美しい健康な肌になります。殊に夏の紫外線に對しては特殊 クラブ美身クリームは、更に皮膚美養料敷種を配合してゐますから、綴けて な作用をして、日ヤケを防ぎます。

皮膚から非常によく吸収されます。

### j) よくつ き水焼する

致しません。初めにお化粧下としてクラブ乳液をお使ひになれば理想的です クラブ美身クリームは、自粉下としての特殊な性能を持つてゐますので、特 に粉のクラフはき自粉のツキがよく永持ちして、夏でも一日中A化粧崩れが

### してへ *ጎ*ደ ሆነ

夏のクラフ美身クタームは絶對に手離せないものです。 で、快い使ひ心地は何とも言はれません。殊にその何ひのよさ! クラブ美身クリームは、つけた後が不愉快にベトつかずさつばりした肌闘り

間、動やたるみには昼世級合本ルモン配合の順用クラフ美男クリーム(10至0キャンが一層効果があります

三〇セン。四〇セン・五〇セン・八〇セン

薬用クララ美身クリーム職選ャルモンさぎ

三

クラブ美身クリーム

化粧品と るみを防ぐのは勿論、更に肌の健康を積極 云へるわ クララホルモン化性品こそ 女性にとつては素明しい福音です。骸やた 的に確定するのですから、 ホルモンを補給することになるのですから リームなどを使へば手幅にしかも効果的に ですからクララ気液や薬用クラブ美力 クラブ乳液 五〇セン 潜進歩的な 

ホルモン科學の世界的權威

伊藤博士の研究より クラブ綜合ホルモンは皮層から吸收されます

ン化粧品は今迄の女性ホルモンの玉、六倍も効力の強い際 ホルモンは毎日少しづく批射するのが効果的ですが、これは女性にとつ 主体とした綜合ホルモンを配合し、しかも 敗させるのが一番良い方法になるわけです。今大都和のクラブホルモ て堪へ得られる事ではありまん。そこで、化粧品に食物させて肌から吸

リク身美ララク

ホルモン

水

特に来ぬ以外に水殿、楊州その他

京城の水田

質狀況は非常に好成態であつた

側離最初の水防御習を行ったが、

防引其等の科学的が其を一般整備 とになり、そのために開明用具、

除病のない場合は代作のソバ、 の面積三関五分は甘戸留まで に六十ミリから音=リ尋提の時 に六十ミリから音=リ尋提の時 に六十ミリから音=リ尋提の時 に六十ミリから音=リ尋提の時

歌取百世二名に遠し、各般の することになった

関連に支統他川龍山織附近一帯で

日報、他山水防殿では四日京城築] に聞いて大いに戦労、w語するこ

月機的に活動さす

**演習の實績に鑑みて** 

少年教護法を急ぎ

化院を設

不良少年の絶滅を期して

本府が全鮮數ケ所に

民にとつて劉もしく殿じられたがら、その義別的奉公は六十五五郎 山智と脳力して、有機能な活動力するとの数もあるので、今後は龍 船には慶多の副線を関

**付不能の狀態です先日來相當の「良少年の遺床となつてゐるが、本「體を感動はしりストを作動中であ」出來ない切談にあるので、この際「離性であるかを製罐ではなる」という。「如此により、「ない」であった。」 「ない」であった。」 「ない」であった。」 「ない」であった。」 「ない」であった。」 「ない」であった。 「ない」にない。 「ない」は、「ない** 

つたことは水防艇急を全断性に促

植付置みで全面間の九間七分置み 開放すでに八百七十四町六反の

脱損は何れも職業を持ちなが

唱してゐる折とて、大いに意義宗

五百八十六町歩に値付済で全面荷 反であるが五日別在の値付以記は「京城府内の田作面程は九五一町六 の六割五分であり延りの三割五分 全然が付不可能であるが昨年の

局原研究とキャムプの會

間すことになりました 此處に又本社では認道局、學習局の後接を得て高版的究とキャムプの音を

つて、特異の他位を占めて了ひました

郷かに後等を認づて來ました起城高殿の山々が一度キャムピングの動象。山に入り山に生きた先住民職が田の殿始臨生活に見かな山の幸を襲へて として世に出てから其の抱く幽寂な山気はキヤムバーを完全に魅了し去

申込締切

主催 京城日報社

中等學校以上の學生生徒並に各學校教職員、その他一般で特に希

(別に婦人班も設けます) 自七月廿四日 至卅日

京城會員一四圓五〇錢(龍山頭を目難し京城館員として参加さられたし)

左キャンプ他のお花畑 石計、照列上からキャンプ

キャンピッグへ行くには、、、漁商高速の生活の底壁と心器で、いまで、こうした意味で養漁部への使用してある。本な不自由さに却つて関かしい魅力がある。幕です、こうした意味で養漁部への使用してあるものをそのまと背裂つて出かけませう

採細は京城日根社、鐵道局整築温度容易、元山磯道移務所容楽魚、成興春に御用置下さい

五〇〇米裁)に採取を無わた言山を試みます。問題希望による帝語者をもつて禁山班を編成して一二治の理定で附近の高山

途は長津棚を頒遊する像足です又高原母の競技質も催すつもりです

登山班昆虫蟾當

京城中學教諭 城大豫科教授

佐竹

植物擔當

當社の設備 ランプ、モーターボート

各自携行品

歸着八月一日午前六時五十五分 京城驛七月廿三日午後十一時期方員は不列車に合流せられたし

設備は主催者の方で相互の經費をかけて致しますが育員からは一部を買加していたよきます 工事、衛生、新、諸対科の認道及無景、その他八十人が生活するだけの 各種の 七圓九十六錢一(版の茶職が職方師からの暖畑賃はない)

謝泉故により肖伽蘭、駆は郷罪に「稿はとても間に合はない、[監査暦] 立即院にも難成することになった」されることがあり、中にはが開始。り、これでは分、紋を根と重樹類/ 物質立所院に難能したが興に各版。並を持つてゐないと、手當を拒繆| あちこちと探して歩く事も度々あ| の不需を貶めて欲しいと大日には

聖技器型に於て明確する、申込み は京城和泉町大居民画本部へ 近の如き計目につき京城公立中 八月八日より同月十二日迄五日

臨機處置なきや

京城の關係醫院に向け

警察當局から意思表示

○意味で例年の如く本年もご お願さんも誰にも出來る **^** 家庭染色譜習會

學々生誕長渡邊前堂氏▲殴ら常代世祖と日本精神(京城帝図さ 纏めたものが際山あるのですが、それが便か の通り明個します。どこの家庭にも曖昧や色 に染まります。 の手敷と強かの染料でピックリするほど見事 ぬことです。低つて御夢即をお眺めします 指摘つて習っておかねばなら

男女で特別の制展もなく同胞調料 議略東步兵少佐深堀遊禰氏▲東 生男氏▲蘇聯の近紀 朝鮮軍器 年の訓練 朝鮮總管旧郷町八器 日間、午前九時より午後四時まで → 七月九日 (木) 十日 (金) 二 

京城日報此來青語

【ロンドン五日同盟】 我がオリン

飛行機でゆく

ベルリンへ

レガッタの単決勝に敗退したが、 ピック測艇代表は、不幸へンレー 百年後六時、約一ヶ月起歌した

後は戦災当田大使の戦撃頭に駆逐告げてロンドンに引揚げた、 **予出のシャーウッドの合領に別。職以王國として名がいウルグワイ」ペルリンに到着直もにオリンピック語のシャーウッドの合領に別。職以王國として名がいウルグワイ」名は五月健康開闢の寛明語く堂々「夕月に入つた** 

本府當局がいよく、來年は

六時グロイドン競旅客機で一路べ

リンへ川を歴史である

同以會の 夏季大學

ると共に昭村振軍業の過度を使一本府書局は 多の影響力並は疑察を新聞のニュ に閏三千名以上と云はれ、過去版】同分にも遂がを書か除出周世間に2 この親神・精功総変法の立義を急い斃神・解神・経・一・衆神・清がは全津・取締に裁き、世別をつまけて来たが一法を会がすることに力を示き且下 スとして提供してゐるが

地から組は、間思者の取締りに追 はれてゐた。今度相接合も實現し

数年前から一たので愈よこの粗種病情の、監理

一物神の作典と心田の朗観とに努む

同民間では地下の国情に極み國民

八月開講

内地に於て施行してある同法を取 作では安年教権法を施行すべ



拠地の径、狭治しい種の中に、主 似は、荒野に飛びはねる同族より の週母者への慰修に配修した高」白い顔に黒いマスクをして扱い配。の週母者への慰修に配修した高」白い顔に黒いマスクをして扱い配。

部へて、数月の歌を結ばした 一かれた要嬌者) 原からオーストリアカモ、金綱「東半郷に面しない登職だと下郷。死ではこんど東京は窓の有竹藤」をよっ下げてゐるといつた。東東、

本府學務局、鐵道局、新鐵

七月十八日 東北南京部へ申込みのと

ふお名残り 三階席も讀者優待

日を以てお名残りとなるので、連一お草くお出で下さい。看像符論は他よ今七、後五畦半開頭、溜线にならぬらち 香塩養験は虚よ今七、後な時半増頭、層地になった。年少年十一座の本紙室器、路標に開放することになった。年 来連日朝政の総況を五十銭)にも特に内待数を辿用し ついけてゐるい思す。同じく一風引きの五十銭としてい 四日所民館に開演以一日の額貨御職のため三階席(一 てお覧下さい

船荷證券で 釜山の怪事件

目和田間太郎氏で二を召喚し、観」にしてあたもので、被害額余七副中の説、去る四日朝大鶴町一丁」の来、置歩を低級して命順責本 要者の配写放物的財車供につき取った 和田氏取調べらる 以来、證券を鑑設して金融資本同人は昨年秋から回潜薬を經濟

道立醫院に新設備 主催---東京手転染色協會朝鮮支部 後援---本社 この樹種病毒監護の立案を怠い 愛嬌しの ◇中、江川 京城日報北内家建築出業智賀 宛文は東、公川道二丁日今中、森本館建盟館 原京城出帯所・但し當月曾堪来書間にても 市込を受付けます △前の東京手種染色の資料的 また昌慶苑動物園にお目見得 **ること」なつた** 度量がに要求しこれが買扱に努め。 に避せられた 具體系の作題によって昭和十二年 式に許可の指令が北海道野外組織環境を本所附生間で急いであるが、則十一時四十分號信大臣の名で正 名を気容し得る程度で、これでは、問題が続に潜神病視がありば四十一 を引起機元すること、なり目下具一般限入港の許可を興へたが六日午 **当乃至二十名を収券するため頒削。ずとなし主政治可の総令即に敷助ので東戦す各直立が総をして上五。はさるか人育忠康のため日本の** 般の思想に聞かことも出来ない 程原産業労権原幸之氏

を申出て来たので外務省では過日

として根

名有感葡

しかも、い つまでも配

間に図さ れる品と 云へば…

777 萬年筆

は、では出いまってり過ぎない。在鮮中は公私共一方な外務等に関しまりチョン観がのの日本 今回退職の上東京に引いまれてので外務等に認可 當り水年の御厚館を厚を用出て来たので外務等に認可 當り水年の御厚館を厚を用出て来たので外務等に認可 當り水年の御厚館を厚いまれています。

るので五日ソヴェート大使館から の生命は非常な危険に囁されてゐ一されてゐる の後後水油だしく九百名の卵組は

一近来にない怪事他として成行法官

はあるが人命数期のため日むを得

隠壽宮にも 數種の猿 つて耐るがこれは強い質に移すも一些成12-4 つて、これは珍しい與公子然とし のださらである、その一則にまじ マスク猿の一蹴も今動物間にとま 長預、台灣積、アフリカ強、原積 この時れの一行に東直して来た尾

節回避

果京市神田區化房町

をぶら下げてゐるといつた。東東、 その日本名はマスク強、飲い宅の き粉聚に昌世苑動物団でお客様に たシヤレものム粹な小道が一匹変 見得することになってゐる コアーで属車道が断つた。 一浦に遠征、西鮮庭球界の地

健康は先づ歯から

新時代の義齒は 歯の御手入れをお忘れない様に!

黄金色より上品な白金色へ! 義歯材として具に理想的! **今や好評嘖々のサンプラチナ!!** 

東京・大阪三金館料金組合名會社(陸軍省所管局院診療所御用)

**万惠塔**詩

20

(錯 聚)——四(秋湖

唯二──四(計劃

五十段(一面割引)

日午前八時から永賀浦の水道 水登浦に

殿因は仁川水道の遠水管が道林 然師水し人々は大国りであつ 切れ味ご耐久力を誇る 安全剃刀器は信用める 青デレット替双一枚付大脈價提供! 名紫新案用聊中 (一〇二二十六) チレットを御使ひ下さい 一十五零セット

品類型友映協會では役員の京遠道 置打合せ 京城學友映

\*

殿館を開催型友映器の事業報告と 午後四時半から府民館院即治に委

歴式、戦闘説長の新街を見たので 数部、内務部長、戦務談長、京城 ・おり首脳を除の診験を求め六日。家人が設見、遍路器で犯人捜査由策、趾艦艇長の新佐を見たので「徒十日位の男の兒を避難しるるを予、趾艦艇長の新佐を見たので「性誠可三五張を戴さん方門的に作

勝来の<br />
鐵本方針の<br />
貫策を<br />
脚談した すて兄 五日夜十時頃京城

西**•**中 *IST*A

トンテ西中

※ 京日案内

的模型的描字中 在外面性由·超低

職温爾古丹島神合で坐職したがそ | 支限も出盟な機能ありと見られて シマ製(四干トン)は去る二月北干 な信事件の背後には取引の家銀行 遭難のシマ號救助 試驗 STANSON OF THE PROPERTY OF THE

【東京世話】ソヴエート職務汽船 英国に達してゐる

入港を許可す

井醫院

在短鏡亞內路 超光 

日、 著画 電響域内地人後され 建をゆるす。 服士語を砂石・原域は原地を砂石・原域は原地を砂石・原域は原地形の町町町川 総を開わず、京域は原地形の町町川川 ので、一般土をで、一般土をで、一般土の ので、一般土ので、一般生ので、一体ので、一般生ので、一般生ので、一般生ので、一般生ので、一般生ので、一般生ので、一般生ので、一般生ので、一般 格 文語は大変選ぶる。 大め他語と開出限を願ひます 京域関古市町三五番岬

機井町一ノ三人(元大正館通り

¥2.00;

影等贝

仲居採用

現校二十七の多数で結局他中が最

京城第一島時に開かれたが、一 |後提第二四京嚴重內中等學校

悪養を去れ

すのため国のため

庭球大會

院隨意

杨毒诸若 動脈硬化

血壓均進を批泄す



重志用女構起一月元 名写き子をいあるます 二円三円五円 施密



母親の壁に誘はれるやらに脚一即一

既に端まされ、父の訃報を信じら 白い歌廻百合の生花、町館の印る 面かれるやうな思ひがした。 しの入つた紫色の底を見て、胸を いリボンの下つた花頭や、

間一郎は、その見知られ人に戦っ て頭を下げて胚盤へ上つて行つた

**(1**0)

| (兩氏共一回語)|| 人目初手合

| 虚異飛法の脈引きを早くも顕版 |ゆるめない

観と、音加に引歪められた体貌の 他子の壁に振向くと、妹の蒼白い 一郎は母親の間に取随りたい衝 香西交香器 七段 ▽小四段 ▼中

持心間含七時間 消費時間 マ六島間四十二分

てみれば一つの筋と見るべきかで饒尖が鈍つたら萬事休す。と

龍子

記八

が出来なかつた。體中の感覚を集 ら伴いて来る妹の題を握返ってみ

のだ。 超だ面白くない順序を呼んだも で四八金引なら六七年

一郎に願られたが、母親の痩せた。 関一郎は母親の間に取館りたい はそれに耐へられさうもない程器

『まあ、兄さんだわ』

▼五八成性(34分) 子れば指し切りは高が、そこでと云ふのは今外の攻撃法を採る

の五八飛廻りの時、九八飛で辛和 の五八飛廻りの時、九八飛で辛和 の五八飛廻りの時、九八飛で辛和

本泉君の六四金はよろしくない 小泉君の六四金はよろしくない あるの味も捨て難いところである たこの飛廻りは超みの足りない題一二五年でありまして日本ではそれ

鐵道の話

初めて巡鶻音楽を明始したのであ 年、朝鮮では文それから廿七年聖 のは今から百十一年前、西暦一八 世界に初めて襲道が影影せられた ります、鎌道は交明の先駆である 上からの必要のみならず政治上か れて明治卅二年に仁川鷺梁書間に から避れること四十五年の用売五一朝鮮の配道もまだ建設時代であり

街角から今にも、父のあの肥一世紀は、生きてゐる人に話しかけ た(縦の脚からタラー〜と場色の ml ませんげど ―― ) 痴を影動から悪んで来て飛ば雨の | 點はうとしてゐらしたのかも知れ 同六時三〇分(束)症健佛能護盛年前六時(束)ラヂオ健操 雅武は、夕方の四時から行はれ一はお父さんの元をそんな方法で一

間一郎は黙つてゐた。

棺の中の父の頭に脱え自分の顔を一へ來たことを口止めしてゐらつし

たんです。若しかすると、お母さん

(東京)五、私達の念願

「お父さん、周が民つて来ました

つて気がんでも取らんて

「製校と云つたって、外の事と遠」らなかつた。只此時の色が機のや一つて、整弦風邪一つ引いたことの

父の顔は生きてるる時と少しも髪中で京域を出路しました――。だ。蓋の増から、格の中を眠いた。 たの。私達も何が何だかまるで夢

-あ」うな無点味な色をしてあるのが父 ないお父さんが、元んだなんて本當

一一、女子青年の恐悟

同一〇時三〇分(東)婦人の時間一億井、脳治

久間象山先生の本領(三)

**同九時**(東)長頃

三味館 杵量 榮齡分 竹本伊達太夫外

女子青年のタ

同七時 ニユース・気象見込・駿

大日本聯合女子青年團理事長 | 大日本聯合女子青年團理事長 | 青鯛 郷生 (札幌) 二、鷹良生活の窓び 田中 てい

女子青年のタ

女子香年團 新城縣八女鄉矢鄉村 新城縣八女鄉矢鄉村

七日の番組 二日) 銀川革船 河部 秀子 と 同愛時三五分 (大) 國民欺鄙 (第の) 一九三六年 

へこの古川の水上間へば、違つの

うるはし稲田も祭え、終い位の

一四、矢部がよいかよ大龍がよいか 五、もめたもめたよ柴菜がもめた

二、縁がないなら八女茶にござれ

君のお米を今に名のみを残して

もめた柴茶がお手のうち 八十八夜のお茶であを

同七時一分(東)朝の修養(佐久) 同六時、齊唱と難前則同七時(今日の天氣見込) 山) 同四時ニュース(須黎通報・鎧 回三時一五分 午後七時五八分(今局) 俚諧 「仙」 櫻越貝

○党松どのは刀を何と好まれた!! へ脱松どのはまだ十五にはならね

ども古武士を一途におたしなむ

齋唱と童話劇

尺七寸波の上腕へ皆の紫揃うと

一放送

齊唱 イー屋まつり(ロ) 頭(2)虎松獅(ハ)月見曜(大)安栗川崎郷鞴(イ)川帰(大)安栗川崎郷鞴(イ)川帰 (度) (イ)田値県(ロ)紙龍県和歌山縣那貫都安柴川可育志

近北に自重、三十四分の 郎村女子青年團 新原さか (福) 茶摘明 福岡縣八次郡 、所は渡瀬の名も任の江の松にか イ、田 植 唄

同八時五三分(京)・デオ新田 京都祕園美灣寶 京都祕園美灣寶 二、清元「日月清速夜歳分」三七夕祭 一、朗綴『天河線起』 (殿鸞嗣) 誰をまつのか松ばかり

舒健の川之江潜水が湧くよ 積んだ荷物は低ばかり

ず、その設備に速度に安全さに今 疑しく僅か百年位の間に今日世紀 て世界各國共非常に力を入れて居 上り他の交通機関の進步にも拘ら ります、従つてその歴度は質に日

の型用をかけて居りますが本来部 まして年々政府は之が脱散に多額

頭を凉しくする純植物性

同三時 | 五分 婦人の時間 - 金 - 楽 - 姫 - 年後零時五分 - 島づくし

三、茶の葉もめく大猫も小猫も て来て皆に七夕さまのゐらつしや らの個物の星の冠を持つてやつて 七夕さまは何殿でせる』と話し合 んが至のお星さまを眺め「一たい

高学法院判事路織一3。こ前七夕歴まつり、配の恋な高学法院判事路織一3。こ前七夕歴まつり、配の恋な ぎの磯白らして七夕畑は雨に立て、夜空は道みて天の川、かさゝ (便職) 今夜は七夕です。花子さ 一夜は蒼く鹿の園、鹿の宮殿の城 選出題 タナバタ祭」 恋がゆれますにほひます そよ風小風夢にきて

清津出朝七月十六日 北部商船出 同語運輸支店

韓地域が支払 富田商會

路案内書個弦り 大代型店へ御申 大代型店へ御申

文の死に就いて吹しつ、配り始め るのは身後によいか悪いか傷的の次の自動叫の中で、周一郎に 同六時 三方分(東) 非対意解析の次の自動叫の中で、周一郎に 同六時(万分(東) コドモ

権公七五郎 同九時三〇分 チェロ凝薬 思いか 同九時 古談 李

本管 伸光 同八時二〇分(大)人形帯電場

本紙一萬號記念懸賞小說二等當選

**類無斷上演映畵** 

も一緒に盛れて行くやうな家がしが零れたのを聞一郎は、自分の配

母続は、極が自動地に入れられる

を見て脳内配を起して、野式に

は加はることが出来なかった。

同午後零時三五分(大)園民歌翫レース組物に跳て、高木美代子

病型! 昼まつり 三根鄰一作詢、齊一市作曲

頭痛で

元の古書

點 %光 %品 "容 にザキの以香の髪洗 ŝ 1

/さ 葛

歌大 型泵 京田井 京東

シック・ボーイの

で頭痛を怠れる

臺 北 大 連 奉 天 電 岡 靜 岡 京 城 東 京 神 戸 名古屋 ステーション

イリス商會東京市赤阪區溜池町一五東京市赤阪區溜池町一五

1季度変活物生 商店

フラゲ、マゲネト)、コイル、デイトリピューター、繋件がリンプ、ノズル、往油器、ゲリースポンプ、ば気工具、及器、ゲリースポンプ、電気工具、及器が完累プレーキー其他

的です を要求での良い油質が では、まない。 のです。 を要求での良い油質が では、できない。 のです。 のでで。 のです。 のでで。 のでで。 のでで。 。 のでで。 のでで。 。 のでで。 のでで。 のでで。 のでで。 のでで。 のでで。 のでで。 のでで。

嗜みに恥ぢぬ

美と氣品!

さすがメヌマは

若人のものだ!

MP-41

## 一魁の元將校及び常 名に死刑 雷雷

起訴せられたるものは將校一名、元將校十八名、 接事件に参加したる將校一名、元將校二十名(内) 官三名、下士官二名、元準士官下士官八十九名、 についてはその後特設せられたる東京陸軍々法會議において慎重審判中のところ直 【東京電話】 七日午前二時陸軍省發表―去る二月二十六日東京に勃發したる叛亂事件 七月五日その判決言渡しを終了せり、 兵一千三百五十八名、常人十名中 一名は事件直後自決死亡す)見習醫 右軍法會議審判

泉

死刑(首魁)

元將校

安

同

同

、謀議"與又は群衆指揮

前

同同同

H

H

同

阿

同

林高

八太

源源

橋

H

優

同

同

無限を包載す に被帥の根本 にで深く同憂 にてこの間生 犯の背後には、

応と接觸し金 特確幹級を排 りしが昭和八 でより我頗現 関しめんこと 関しいなるもしか にこれが打倒 にこれが打倒 にこれが打倒 にこれが打倒 ※前を受付事点方面の情勢を承知し相談りて同時に豐橋市在住間大、之より先き動馬賠継は同月十九日豐橋の自宅に於て磯部淺一の交付せり

## 重臣の殺害を謀る

大臣に對し軍に下田高橋是に軍人臣は不正高橋是に軍人臣は四、公司

藤御三、亡元 藤御三、亡元 で歩兵第一聯に対する し開人を殺害。

但し要国語語に通過せしが

非順逆を誤り

は上古の総令 は上古の総令 たるものと記 めるを以てい

会大会天郎、潜原既平は末に兵力を使用し直接行動に出づるの電思を有せざりしも前記計造の示途を受けるや遠に小師の情証に載りませるのなりを決定するに至れるのなりを表示して、日月二十五日夜日中孝大は黒川哲也よりを居は一時では、日中孝大、「最忠後」「一香田清貞等が走兵第一帯壁は「命令上前記襲撃及び占據後時年初と加し、近行すべきことを告げ以至し、同月二十五日夜日中孝大は黒川哲也よりを記憶なる。古一受正地と同日のは、日中孝大、「最忠後」「一香田清貞等が走兵第一帯壁に命令上前記襲撃及び占據後時本大臣に對して要定すべき事項を上して

進すること

## つひに行動を開始す

### の各供定事項につき左の如く行動かくて以上同志は相解結の上削記 行 0 概要

自動車で連絡す

統及び賢包を興へ更に崇順安秀れが賢行のため削記長谷部の奉

て事をあげしめることに決定之

大日末町所駅が長期では、十十十七の便物を削減で上記でに所製の物を削減しついて非常呼吸を行び開発を行り、大日末町の一般を削減していて非常呼吸を行び、開発が 河川前雄に内部部加大臣官邸を 開製し認即大臣隣田野介を設定 首相官邸の襲撃

**腹壁を設定し松屋修練を瞬出座** 雌に過剰大豆修作事務膨胀物配 場が、現実の関係、小野女代域四名 橋加大臣官邸を破綻し前邸を被断・兵斧を田鹿し前五時後内根野、兵斧を田鹿し前五時後内根 酸金以を含則に整列せしめ翻起 と順磁しために同人を扱いす **げ、その一部を**再生

臣面明是清 400班制间人を投水、申投基明、市岛管辖住大岭大 高橋蔵相を襲ふ

と実人院に二分し前者は64分と実人院に二分し前者は64分割 昭和維新能行のため価格蔵組の 派にありし今県戦道の肝に宝り 尉合泉義直をしてこれを撃みし **严,常计六日子则三班的史籍基** 開機相を設計することなど決 的技術を以て同版内に飲入して 中島発剤は同中国を入り上

る政府は唯接兵を引続せよ」と「他せられるが故に核兵副即令た」 の自由に表すい 『我々と行動を共にすると言と 明かにせざるを以て中楫が明け 教室の趣なるごを告げ旦行動を 野的観性にの記述すべきを撃 数は「軍器に至り配に己むを

極ひ行動せんと決選するに至り いで同四時頃中機が崩非常呼 となし中格基明の記点に 近して一時外部との通信を妨害

潜したるが、二月二十六日午前 通を辿回し、香田浦貞、村中孝次 雄し配流省、秦禄本部開闢の交 最高以一と経年上が部に建する 折断を浴がならしむる仮称を貯

命ぞられ所能部域に避費せりたの投除十一時級動物の変代をたの投除十一時級動物の変代を エシャム公園館出近に位むし中 中で完治は中様主旗の指示によ 人院を得る同五時的大野大臣の特三十分的兵衛を出職し自り突 一首長約首二十名を指揮し同門 を行ひ明治理旨を群と師と下 次いで一門に関を返去し

[P] 省別近に至り坂非部隊の主力に を拊路せるが、一月二十六日午 上侍院長鈴木貫大印製館の復務 安藤は鈴木邸へ

りこれを止まり遂に復れするにんとせしも夫人孝子の継嗣によ 新去し郷町三宅坂附近に至れり 至らず同五時州分配 - 勝同院を の統則を貢はしめついで安静 三は特征長に「となめ」を刺さ

題、同五時の時に調料しな事体と何内は二十分前に費用 野地を行び地上門早の近月名 数々に提別法、経規制法、小回語司法が個及協用門問立幹上 は上野中川道指師の下に無視的 八十町 一時節各所郷中職に非常 常智称"河畔"中、岭木金类心

電子打造減を各を開造し間減の 各出人口を逃し、また間減塩上 に機構液、小原草圧温速を返ご し、題に出典を換出に一部を配

現長祭出郷、間五華體軍大臣国 配に暗客し主力部編を以て間道 配と暗客し主力部編を以て間道 四時國非常呼樂を行ひ下十官兵 鹽部滅一、春田神威。 竹島縣大

齋藤内府を暗殺

てかれての計説に基言赤坂難召 旧段は下土官以下州名を指加し 用自動車低車に搭乗し数管器監削において田中勝の交付せる単 近に並れり、なほ価橋太郎、安

警視廳を占據す

慰相官邸を占據

進奏継太陽仏殿に向び院大舞通 を派前版を襲機しますす子の縁 止を続して版人を教派し門大舞 上を続して版人を教派し門大輝 語は主力部院を押めて陸軍省附 問々邸を記去し坂非面、変原清明を邸を記去し坂非面、変原清

の 東京瀬日新開心を観聴するに至 東京瀬日新開心を観聴するに至 り深川自沙浜一幅、自機は前二 機式に関りその他所顧自動車に 種をこれに交付してその部隊の する部隊に有自動民中を交付し居たる。通過本部、安田園の推推 認能も那種なに移るため符合せ いで間九時間を開安秀、他出

八、二龍家等、雌田俊彦、中島記 日は同月二十六日中東九時里下 使用し以て連絡幅送に低じたり 京日二茶湖山、新**丰**管野山、四 各新聞社を歴じ

て首門官邸に帰還せり 作を配布しこれが視板を要求し 通信化等の各社に題り概也要は、光新的心、報知新的社及び市場 問題行を不能ならしめ聞いて東 新時代を受ひ向性をして一時新自動小三時に分乗して東京朝日 士四段凡七五十名を指揮し軍用 唯川西助は二月廿三日神奈川

段子引流す事業をして母呼酬し
とない。近十事報服権と関係の権力 を選成せもめんがため郷町降九 在を低続したる上層京し事情観 のでは外帯にありて開港の企園

本一十一、二月二十六日東京方面の独立する。東で終りたる部隊は東めか出せて、二月二十六日東京方面の独立する。 蹶起理由書朗讀

田垣邸で設立、昭本大豆川島大 棚を面は、石田田宮は一間を代 表し個島東の場を面置すると共 陰重省長が野県勝を占はし、 関にはて香田神原、村中孝文、 限しはて香田神原、村中孝文、 で復姓に折頼来那せる山下小新に重切を貢はせしめたり、次い 佐の指揮する一臓が配偏せしめ より江方殿部において趙宗せる 備司令目の方針に基意的二十六 簡の下令せらる」や、なるべく るも之に設せず第一師管戦時野 に到し学院を持つて財職し前人 これが部隊と流館の優を避け就

を製造し前人を投資し更に高級安田自は内大臣子覧が問題の 夫人哲子に関し 太郎仏郎を思端し同人を殺害す太郎、安田母は破武總監被過監 機関派人を登出しその題母を以出過に正常出土政治の題母を以 調つて監修を買

時態降軍大臣は既に納着し機能に参拝しついで宮城を押し師五に参拝しついで宮城を押し師五 動形に搭張し且つ兵二名をして、といっ指示により直ちに飛用自 (朝、 剛心) 自動に (職・ 自動) (動・ 関心) を表がられています。 (単一) を表がられています。 (単一) を表がられています。 (単一) を表がられています。 (単一) を表がられています。 勝三十分返下士官兵士三名に監査さるが、二月廿六日午前二 殿路自動唱を以て敷送の住物を1、田中勝は防脈形戦車側兵第七 大臣弘既を謝城し題に遊場政府が成員付別近に至り抗協強隊内 自動的は一名を運搬せしめ状に **々分乗せしめこれを指揮し午前** 世に参拝をたすと辞し戦隊俯付一 を避難して降盛を無へたり を避難して降盛を無へたり 整理管験に至り消散の助力をな に努め之れを同志の部隊に通報紹光祭と連絡し外部情報の蒐集 じて土官を選舞機能して同日夕しめたるが安康弾三の部隊に投 同月二十六日口後步坂大尉松平 質包三百銭を入手せしめんとし 牧野伯を襲撃す

戦闘準備をなす

也也

動すべき』皆遠議班知ありたる

を承知し小断大佐に對しその間

ができた。 一大大日午町等時刊十分的書類は一個に分別出場しば 五時は場所のに終むし毎里留 一般は近期で終むしの東国 一次が前頭 を受べてたるまとを確じします。 二十五月後日れて『原安元の語野中期政治の世帯を打傷し二月 能に比問の耐波和山場、中原街館に比問の耐波和世界が勝三列兵一名 数に依り歩兵第一殿隊に集合せ 伊東国民館資配形に司在中の牧 三を指揮し他や肺沈三変共仙を 上可能器は単数川無関連盟町 中機能明に関する減緩命令とした。一月廿八日朝村中冬次香田 より同中間が共指揮せる形除を 兵精的近に集結せしめられるに 機能験をして連に歩兵第一職隊 て「現倒司合門に動命を帯に占

刺命行動開始

原形形に放火して之を焼製し火 有機能に着り激散遊び船川電車 有機能に着り激散遊び船川電車 歴け付けたる岩本地三に統領をく江に統領を、近朝市火のほめ のを指揮性難し率光波ガレン 可はしめたるも途に牧野伸駆殺 ひ国心と輝きを知るや解除のも水上語一は亡河野路の範囲を良 客の目的を遂ぐに置らずこの間 るにより耐人を地段せんとして

内に強人しいは牧野神頭を開致 さんとして家部に外を邸り返は 近次のため近け付けたる郷に関 し刀を採り着して威嚇駅止に努 めるたどの行動を取てまり、し のるたどの行動を取てまり、し 総納在分院に至りしが原所にたちに依り一間東京第一衛は 而東京第一衛戍病 上五、大工汇题、原料1印出 能と共に響起すべき自申期から二十五日中韓是明より明朝他部

陸相と面接し て各本網に眺きたり

交員療法時、小産経軍大省、山 下心間、端井歩兵中佐を指攻し 下心間、端井歩兵中佐を指攻し 一方計の下に右の掀廊を時間せられ、美いで削二十七日星南歌 で折断乗合せたる片角が異少佐で折断乗合せたる片角が異ない。この間部日午町十時

人等の手種を自ら脱し経済せるし出籍に離還を能じさまに被散 職し総抗を職然し下土街長に国 | 15日間部線の逐次緊迫せるを目の既に明始せられたるを緩脱し 決を概念し間日夕何れも東京園 遠に上頭市四回を除く外一間目 L 館簿れて景延山に向ひしが三月又はその宗教心により同日正午 までに下土官長の全部が確せる 民無務所に強制収容せられ山本 は目状を表示したるも二部の指 段は首相管師に集合しその多りに至り組織山本文を除く、前の

各下士官の る後部下を撃るて背目的風 行動

東左る師人より昭和維帯協行の 東左名師人より昭和維帯協行の 東につき問題を受けば人等のを 思ずして参加を決局し二十六日 **温要するものなることを17知し** 人はその命令に假託して犯罪を が国際市新思想を把握しあると 非常呼楽の中隊長段と共に中籍 とを知るに出りたるを以つて同 器周せることを状态し無端一山 本職の指揮系統を随れてこれに 脳の一部を知悉し至りたるより たる。本語の研放上これを担み を関する情を使けられていた二十六日 生型二時卅分級師人職起職が形 と響する模文を登み間かされ、 といする模文を登み間かされ、 十六、前田仲吉住一百二十五日丹 供题思 上一明二十八十二年初之州 電話等による通信機関の使用を名を撃みて陸軍省運行所に至り 御の下に良意を出郷午前五時頃る中職兵政と共に丹牛誠忠の指 の低務等につき知るや直ちによ 歴史大臣智徳に知ざてるで兵五 れに動加を決認し非常呼流によ し、昭和維新節行のこの際起す

たり、大正正義は総数三個分級を作品で明記の登録がある。 中最近明之共に守衛第二小職長 原屋内に住人し度相の所在を使 五時高級略に至り形態一即は同 より昭和豊新の総行の間かげられる中かれて加入より日本を中かれて加入より日素を指して直り上された台加を京都し帰て直り上された台加を京都し帰るの思想を対した。 午町三時頃割上官たる一扇と考し十七、屋前健実部は二月二十六日

記さき歌州せるよ平常の録道上

安秀の招数に依り開び野台野時期記の後は二月二十五日、紫龍

機器は除ると原安方の計に参集

に依頼し菜館館店より右拳銃の一十二、間月二十七日期月中多次は り引令官者権中群、安非政務等
外、春田浦は江政統部令第七至
ととに挟定せるをもつて村中学 字を過せんと志子に至れり 既の別場ぐべき間を制志に提示 野、新語事常に部隊を集結する ●解本部の終粉便宜を順過し 調井中佐等の動告により健和省 て一般の情勢好様せりと物 々その所言を伝めその強胜を耐 原日中後四時城臨期宮殿において一部軍事参議官と領見し事態においなった。 治に関するが数に基き害出清点 部選一座は北岸大型より事態な 間を力鋭し次いで村中華次、 態を無く是版せられたくしから

で幸樂及び山土ホテルの上前者 だの指揮の下上師優から首別、 佐の指揮の下上師優から首別、 大切を意味・納 ず、耐してこれら部隊は小崩大 却つてまづ小場大佐の命に従ひ 一門教化器を配去するの必要を 題の混乱が続きに徐へ役帰能令間要来の歌の推済を返と斉他神師男来の歌の他が急遽と斉他神 わる即続長及小康大佐に対して 袂の狭心をなし興き競響にから 打を踏ひたるも北郷次山、西田

西守してな職せんと狭意し同月 脱する者あり交路一級を指加しは属の大部心に非ざるべしと主 るにおいては他くまで概位版を

士官兵歸順 自決を決意 部が大臣は 脱り 小院技として 的パー名を 都んて

さしめ見目のその際以縁を巡れ に位置せるものなり し前後引動き地下を撃んている を記答して国取外部の類似をな

日後町脚中間週番十官たる抜作十八、林武及び新正大は二月廿九 直より部起の趣口を告げられる 東せられその選出なるとを協知 られ且作器の命令服総関係に指 で自ら誰んで本行動に参加す の背部に對し悪能を傾射せりな機能に殺却し既に増れなる構能 で屋内に使入し安田役に耐いて

既治験に参加し同成内に反人し 水により機関前類用と相が しつゝも日むなく意脈内大臣邸の側壁に参加せり 作言分談地よして常勝門大臣は たほ新正天は出頭則坂非屈の指

行動し至れり て京師部隊に合統しこれと共に

十九、永田区、党込む市は二月 意識物質器監督配置機に分談技 部により経機協院を以て女中部 林武は影響内大臣取場際に含り「原素真剣の蘇放に伝じたり、父 際質を避難したる際条銃方部を 上度常に使人し抜非直などが最大り飛騨質の所在を拠れて下院 を撃る領取内に嵌入し坂非直の 特機関銃分隊長として独中四首

り部をよりで参照した当し場合の「動脈がある」というのでは、野の原産等をして、 あり、仍て首即常一同智見使自て音成をする言語域である。 化基しきに改り数くこれを保留 行動質励近きこと聴賞なるを以 命令を受難しこれが原理を企調 せり、これと前機して村中参次

に對する要求を述べ都能の配情に對し認起の暴急能に東音器形

小學七中院是二年中四少日報 0 新加盟の一部のであっています。

り内大臣飛続買子の山原製 受けられるや之れに同様し次い番上官坂井直より階級の趣口を 何等報告することなく秘かに共 つ何れも所屬中隊の過音士官に は小眼竹次郎にその目を降へ且 で長間一、作田正夫・樹木服式 明龍中深いあらさる第十中間最 極大、長潮一は二月二十五日夜 率い回郷田の警戒に任ぜり

原物七十名を推揮し帰郷は大湖 に間点し間機能は紙・上門四名 に間点し間機能は紙・上門四名 二十、主石利二単は第七中跡光 官に可等の報告することなく統

開航機会保護として共二十名を

を利めらる るや所郷 縣 週番土の上部中四郎より本行助に参加 の質性を探行して野中国院の聲 要成中、火焰に近は北路地域の設計を 調査路に懸り牧師伸駆の設計を がは、火いで同期形象 附近で会市に避難せる加女子数

」に述べたるが如し

今泉少尉官位喪ふ

一の行動に就ては行物が受った別立に電転し成態せり、水上源

度に握り機関語文は発説を以て

五日後野郷中総師木金夫郎を作った日後野郷中総師木金夫郎を作った日後野郷中総師木金夫郎を作った日といいました。 これに同意し起つ終制を取るこ

下口失為多田間、二十六日中前

で統上より戦後日なら五日を以て官位共び関係。るため、関軍將官分融令の規定に

は異成師古城部隊に加はり郷伊田東曹に参加を動勝せり、研隊とを繋知しつと第十一中隊的演

り取内に使人し鈴木侍録せに対し季焼を施祥、ついで安州軍三 語事堂、幸器及び山王ホテル等 して下土官民物八十名を指揮、近に至り太田置は第一小職長と 木特性長に母し霊院を認識。ま 経心部下を撃るて陸軍省、町

後、同期推西南側の高地的近に 名中に耐人らしき変を認め、

本號外本紙不再錄

田及び提開は共に撤開総分職技に総開せる、有職職技更にい 原を観察では、これでは、1000年のでは として技術教育活動会所と概に

除せずその信念を有するに至れ が人營優安勝暉三の指導に依つ 社とも直域行動をなすも取べて で関盟関係のためには一貫を履 ほ長間に人気前より回題の 研究を志し記つ近外明治極新

水上は風味を利用するに非されば革命を置け、様子のを置け、様子との信念に 等に関し戻さが見を交換し且つの目標、既行方法能にその時期 第の思想自念に内閣がし特に 瀬一、縦引色三等は常には原安 於て管理と曾合を重ね直接行動 人で指述し父自宅その他を所に 下上: "生活理题三: 言旧是, 中島 语语, 黑田縣、黑語版一: 水上 決行の時期を行記し出りたる國際人より多額の資金を受け只管

に、激活記の伊東島武都党派社 担けられるや、同れも非数の である。 であるのでして、その監督に である。 は最初開胎に関ロより使人、と共に重視を買ひたり、黒田麗と共に重視を買ひたり、黒田麗 書りては宮田男は黒田夏及河野 変のもの三名を表現するやなは、

その中に牧野伸頭・潜伏しあるべしと直観してに向ひピストル変観を解析さり、中島清空・ 韓女子が影響常盟し語るを認め